

令和7年度 施策評価シート（令和6年度実績）

施策番号

1

施策の分野	action1（環境）	基本施策名	環境の保全	施策担当課	生活環境課
				関係課	農林水産課、建設課
施策の目的	令和3年度に見直した環境基本計画に基づき、エコ市民会議など市民と連携した環境保全活動や啓発活動、豊かな自然をフィールドにした環境学習、実践活動に取り組み、市民と市との共動による環境施策の推進を図る。また、土採取の抑制と採取跡地の保全、廃棄物の不法投棄対策等に取り組むとともに、北潟湖・竹田川の水質浄化、森林の保全等を図り、あわら市の豊かで美しい自然を守り、次代に継承していく。				

■ 施策のKPI

KPI	単位	R3	R4	R5	R6	R7	目標
道路や空き地にごみなどが少なくまちが清潔だと考える市民の割合	%	68.8	66.4	64.5	65.5		75.0
市民・団体の環境イベント開催数	回	20.0	27.0	28.0	32.0		30.0
豊かな自然に恵まれていると考える市民の割合	%	91.7	89.8	89.1	89.5		95.0

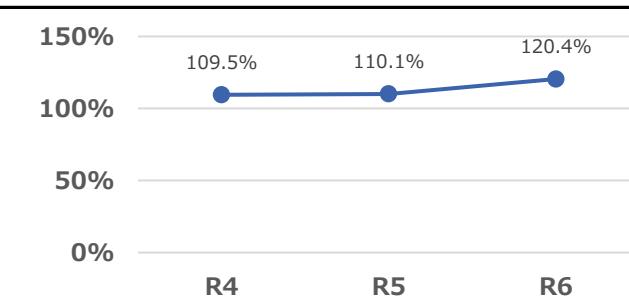
■ KPIの推移に関する要因分析・評価、達成に向けて今後取り組む事項（施策担当課・関係課）

第2次環境基本計画に基づき、各種施策を推進している。令和5年度に設置した「ゼロカーボンシティ推進チーム」では、新たな施策検討を行うために外部講師を招き、助言を得た上で新たな施策の検討を行った。今後も委員の入替を行ながら、継続した検討を実施していく。

また、昨年度は海岸清掃で回収したプラスチック漂着ごみを再利用したトイレサインを作成し、公共施設に掲示することでプラスチック製品の利用や海岸漂着物の現状を周知した。

今後も継続した活動を行うことで市民に対する行動変容に繋げていきたい。

参考：事務事業の重点指標達成率の推移



■ 行政評価内部評価委員会の意見

(前年度)

クリーンアップ活動実施回数など令和5年度で実績を落としている事項を中心に理由を分析して、次年度以降の業務に役立てることを検討されたい。

(今年度)

子どもへの環境教育について、発達段階に応じて実施されたい。

■ 行政評価外部評価委員会の意見

(前年度)

行政評価内部評価委員会の意見はおおむね妥当と認める。

(今年度)

行政評価内部評価委員会の意見はおおむね妥当と認める。

■ 施策を構成する主な事務事業

No.	事務事業名	主要施策の成果 該当ページ数	事務事業の重点指標								所管課	備考
			指標名	方向	単位	R4	R5	R6	最終			
1	環境基本計画の推進・見直し	77	豊かな自然に恵まれていると考える市民の割合	↑	%	実績 達成率	89.8 94.5%	89.1 93.8%	89.5 94.2%	95.0	生活環境課	
2	環境保全意識の啓発	76	出前講座の開催数	→	回	実績 達成率	7.0 -	10.0 -	7.0 -	20.0	生活環境課	
3	環境学習と実践活動の充実	79	クリーンアップ活動実施回数	↑	回	実績 達成率	50.0 71.4%	35.0 50.0%	40.0 57.1%	70.0	生活環境課	
4	環境保全団体への支援と連携	76	市民や各団体等との共同実施活動数	↑	回	実績 達成率	12.0 200.0%	13.0 216.7%	13.0 216.7%	6.0	生活環境課	
5	土採取の抑制と採取跡地の保全	—	現地パトロール回数	↑	回	実績 達成率	11.0 157.1%	13.0 185.7%	13.0 185.7%	7.0	建設課	
6	廃棄物の不法投棄対策と空き地の適正管理	80	パトロール回数	↑	回	実績 達成率	29.0 96.7%	24.0 80.0%	34.0 113.3%	30.0	生活環境課	
7	漂着ごみへの対応	77	海岸漂着物地域対策推進事業実施回数	→	回	実績 達成率	3.0 -	3.0 -	3.0 -	3.0	生活環境課	
8	環境調査・発生源対策	78	公害調査の実施箇所数	→	箇所	実績 達成率	29.0 -	29.0 -	28.0 -	29.0	生活環境課	
9	適正な愛玩動物飼育の啓発	77	狂犬病予防注射接種率	↑	%	実績 達成率	81.9 109.2%	80.8 107.7%	75.2 100.3%	75.0	生活環境課	
10	北潟湖流域及びその周辺の保全・再生	78	北潟湖水質汚濁環境基準値適合率	→	%	実績 達成率	77.1 -	74.3 -	74.3 -	85.0	生活環境課	
11	河川環境と水質の保全・再生	80	不法投棄パトロール	↑	回	実績 達成率	2.0 66.7%	2.0 66.7%	2.0 66.7%	3.0	生活環境課	
12	森林の保全・再生	137	除間伐	→	ha	実績 達成率	83.6 -	109.4 -	94.2 -	60.0	農林水産課	
13	里地・里山の保全・再生	76	市民や各団体等との共同学習会の開催	↑	回	実績 達成率	7.0 70.0%	7.0 70.0%	13.0 130.0%	10.0	生活環境課	
14	斎場・墓地の管理運営	—	墓地台帳の整備率	↑	%	実績 達成率	60.0 120.0%	60.0 120.0%	60.0 120.0%	50.0	生活環境課	
15						実績 達成率						
16						実績 達成率						
17						実績 達成率						
18						実績 達成率						
19						実績 達成率						
20						実績 達成率						

令和7年度 施策評価シート（令和6年度実績）

施策番号

2

施策の分野	action1（環境）	基本施策名	循環型社会の構築	施策担当課	生活環境課
				関係課	
施策の目的	各種啓発活動を通して、ごみ減量化とリサイクルを推進するとともに、自然エネルギーの普及と環境に優しいライフスタイルの実現に取り組むこと等により持続可能な循環型社会の実現を目指す。				

■ 施策のKPI

KPI	単位	R3	R4	R5	R6	R7	目標
ごみ減量化や資源リサイクルが進んでいると考える市民の割合	%	56.5	55.1	54.7	51.9		75.0
市民1人1日当たりのごみ排出量（↓）	g	947.0	902.0	870.0	892.0		850.0
市民1人1日当たりの家庭ごみ排出量（↓）	g	756.0	754.0	727.0	748.0		700.0

■ KPIの推移に関する要因分析・評価、達成に向けて今後取り組む事項（施策担当課・関係課）

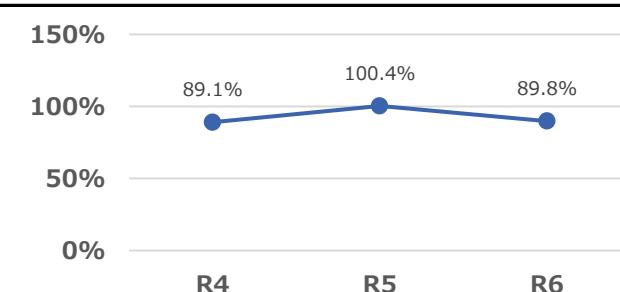
脱炭素の取組の1つとして、グリーンカーテンの普及と省エネの推進を関連づけ、市民向けに行っている。参加者に付加価値をつけることで、参加者の増加につなげている。また、幼少期からの環境教育にも取組むことで脱炭素化の重要性を啓発している。

再生可能エネルギーの普及については、市内旅館に設置された木質バイオマスボイラーを見学することで市内から排出された間伐材の活用の現状と資源としての利用の重要性を学んだ。

令和6年3月から実施しているEVカーシェアは、利用者が増加し、設置旅館が3箇所増え、市営駐車場を含め9箇所10台の設置となり、EV車の普及・利用につながった。

今後は、持続可能な取り組みを周知するとともに活用方法を行動変容に繋げていきたい。

参考：事務事業の重点指標達成率の推移



■ 行政評価内部評価委員会の意見

(前年度)

今後も引き続き、ゼロカーボンシティあわらの実現に向けて取り組み、広報についても検討されたい。
また、各取組によるCO2削減量が数字で示せるよう検討されたい。

(今年度)

ごみの排出量が増加したが、北陸新幹線開業に伴う影響も考えられるので、分析できると良い。
ゼロカーボンシティの取り組みについて、何を重視して今後取り組んでいくのかを示すことができるよう検討されたい。

■ 行政評価外部評価委員会の意見

(前年度)

行政評価内部評価委員会の意見はおおむね妥当と認める。

(今年度)

行政評価内部評価委員会の意見はおおむね妥当と認める。

■ 施策を構成する主な事務事業

No.	事務事業名	主要施策の成果 該当ページ数	事務事業の重点指標								所管課	備考
			指標名	方向	単位	R4	R5	R6	最終			
1	ごみ減量化の推進	79	家庭ごみ一人当たりごみ排出量	↓	g	実績 達成率	754.0 92.8%	727.0 96.3%	748.0 93.6%	700.0	生活環境課	
2	ごみ減量化意識の啓発	—	イベントでの出前講座や啓発物展示の実施	↑	回	実績 達成率	3.0 60.0%	4.0 80.0%	3.0 60.0%	5.0	生活環境課	
3	ごみの収集運搬	79	一般廃棄物のあたり収集運搬コスト	→	円	実績 達成率	18,455.0 -	19,794.0 -	21,742.0 -	17,000.0	生活環境課	
4	ごみの共同処理	79	一般廃棄物の焼却量	↓	t	実績 達成率	8,302.0 108.4%	7,966.0 113.0%	8,036.0 112.0%	9,000.0	生活環境課	
5	し尿・汚泥の適正な処理	77	し尿処理量	↓	t	実績 達成率	2,613.0 156.9%	2,588.0 158.4%	2,451.0 167.3%	4,100.0	生活環境課	
6	再生可能エネルギーの普及と有効活用	—	施設見学会の開催	↑	回	実績 達成率	1.0 50.0%	2.0 100.0%	1.0 50.0%	2.0	生活環境課	
7	環境負荷の低減	77	グリーンカーテンの普及	↑	件	実績 達成率	42.0 84.0%	43.0 86.0%	44.0 88.0%	50.0	生活環境課	
8	5Rの推進	79	資源回収量（登録団体実施分）	↑	t	実績 達成率	821.0 71.4%	792.0 68.9%	668.0 58.1%	1,150.0	生活環境課	
9						実績 達成率						
10						実績 達成率						
11						実績 達成率						
12						実績 達成率						
13						実績 達成率						
14						実績 達成率						
15						実績 達成率						
16						実績 達成率						
17						実績 達成率						
18						実績 達成率						
19						実績 達成率						
20						実績 達成率						

令和7年度 施策評価シート（令和6年度実績）

施策番号

3

施策の分野	action1（環境）	基本施策名	地域防災の強化	施策担当課	危機管理課
				関係課	建設課
施策の目的	地域防災計画の見直しと津波ハザードマップの作成を行い、これらに基づき組織、体制、設備の充実を図るとともに、自主防災組織の設立促進や意識の啓発を通して、災害に強いまちづくりを進める。				

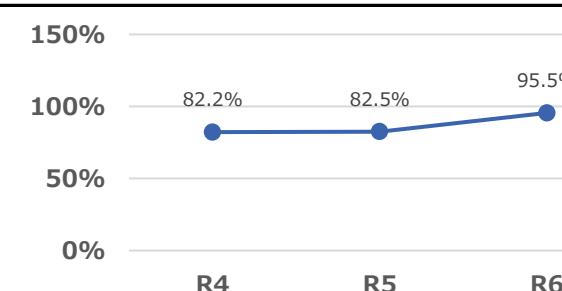
■ 施策のKPI

KPI	単位	R3	R4	R5	R6	R7	目標
自主防災組織の設立数（全132 区中）	区	110.0	110.0	110.0	112.0		120.0
避難拠点や自主防災組織が整備され災害に強いまちだと考える市民の割合	%	37.9	36.4	31.5	30.0		40.0
防災士資格取得者数	人	95.0	98.0	104.0	116.0		100.0

■ KPIの推移に関する要因分析・評価、達成に向けて今後取り組む事項（施策担当課・関係課）

防災士の資格取得者数は、年々増加しており、一人ひとりの防災意識は確実に向上していると考えられる。また、自主防災組織も新たに2区で設立され、地域の防災意識の向上も図られている。今後、さらに地区での出前講座や広報誌、SNS等で取り組みを周知し、市の防災対策に関する市民の認知度向上に努めていきたい。

参考：事務事業の重点指標達成率の推移



■ 行政評価内部評価委員会の意見

(前年度)

大規模災害が発生した際を想定したBCP（事業継続計画）をしっかりと検討されたい。また、様々な状況を想定した情報伝達手段についても再検討されたい。

(今年度)

BCP（事業継続計画）について、職員全体が内容を把握するように、定期的な確認や訓練に取り組まれたい。

■ 行政評価外部評価委員会の意見

(前年度)

防災に対する意識が低い方に対しても、ハザードマップ等の災害情報が知れ渡るような施策を検討されたい。

(今年度)

自主防災組織の活動実態の把握や防災出前講座の対象区拡大に努められたい。様々な災害を想定した適切な避難所の確保や防災マップ作成の際の関係機関との連携に努められたい。防災士の資格については、認知度を向上できると良い。

■ 施策を構成する主な事務事業

No.	事務事業名	主要施策の成果 該当ページ数	事務事業の重点指標								所管課	備考
			指標名	方向	単位	R4	R5	R6	最終			
1	地域防災計画の習熟	—	集会施設耐震工事補助金の申請地区数	↑	区	実績 達成率	0.0 0.0%	1.0 20.0%	0.0 0.0%	5.0	危機管理課	
2	危機管理体制の充実	—	避難拠点や自主防災組織が整備され災害に強いまちだと考える市民の割合	↑	%	実績 達成率	36.4 91.0%	31.5 78.8%	30.0 75.1%	40.0	危機管理課	
3	災害時要援護者支援の推進	—	要援護者台帳登録同意者率	↑	%	実績 達成率	14.4 65.5%	15.1 68.6%	32.0 145.5%	22.0	危機管理課	
4	自主防災組織の設立の促進と支援	20	自主防災組織の設立数	↑	回	実績 達成率	110.0 91.7%	110.0 91.7%	112.0 93.3%	120.0	危機管理課	
5	消防防災・救急救助活動の運営	22	自衛消防施設整備補助金申請数	↑	区	実績 達成率	15.0 75.0%	9.0 45.0%	10.0 50.0%	20.0	危機管理課	
6	消防団の強化	—	あわら消防団年間訓練実施回数	↑	回	実績 達成率	19.0 172.7%	19.0 172.7%	21.0 190.9%	11.0	危機管理課	
7	除雪体制の充実	166,167	雪に強いまちづくり支援事業採択件数	→	件	実績 達成率	13.0 -	15.0 -	17.0 -	9.0	建設課	
8	防災・減災意識の啓発	21	災害情報テレfonサービス利用回数	→	回	実績 達成率	562.0 -	859.0 -	1,118.0 -	1,200.0	危機管理課	
9	防災訓練の実施	20	訓練参加者数	↑	任	実績 達成率	3,017.0 67.0%	3,351.0 74.5%	3,546.0 78.8%	4,500.0	危機管理課	
10	情報伝達手段の管理運用	21	災害情報テレfonサービス利用回数	↑	回	実績 達成率	562.0 46.8%	859.0 71.6%	1,118.0 93.2%	1,200.0	危機管理課	
11	防災資機材の整備	20	防災資機材の整備率	↑	%	実績 達成率	112.3 112.3%	99.6 99.6%	123.6 123.6%	100.0	危機管理課	
12	応援協力体制の整備	22	災害時相互応援協定の締結件数	↑	件	実績 達成率	40.0 100.0%	41.0 102.5%	42.0 105.0%	40.0	危機管理課	
13						実績 達成率						
14						実績 達成率						
15						実績 達成率						
16						実績 達成率						
17						実績 達成率						
18						実績 達成率						
19						実績 達成率						
20						実績 達成率						

令和7年度 施策評価シート（令和6年度実績）

施策番号

4

施策の分野	action1（環境）	基本施策名	安心なまちづくりの推進	施策担当課	生活環境課
				関係課	危機管理課、市民協働課、建設課
施策の目的	防犯隊による防犯活動の充実と住民の防犯意識の高揚を図り、犯罪の起きにくいまちづくりを進める。安全教育や施設整備などによる交通安全の推進や消費者保護の推進により、安心して生活できるまちを目指す。また、特定空家等対策については、法に基づく指導などを効果的かつ効率的に推進し、安全で安心な市民生活を確保することを目指す。				

■ 施策のKPI

KPI	単位	R3	R4	R5	R6	R7	目標
犯罪が少なく安心して暮らせるまちだと考える市民の割合	%	84.1	79.2	79.0	78.6		87.5
交通事故発生件数（↓）	件	29.0	28.0	21.0	41.0		30.0
消費者保護対策が充実していると考える市民の割合	%	27.5	24.9	21.5	20.1		30.0
特定空家等の件数（↓）	件	9.0	9.0	7.0	6.0		8.0

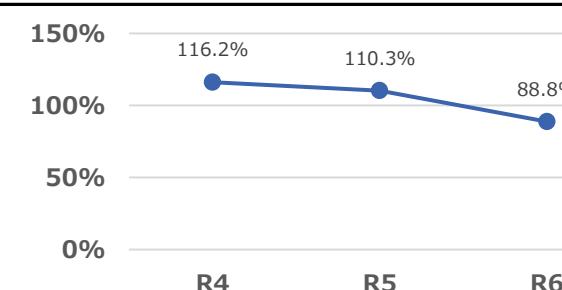
■ KPIの推移に関する要因分析・評価、達成に向けて今後取り組む事項（施策担当課・関係課）

令和6年度の消費者センターへの相談件数は112件と前年比9件減少している。相談項目では、不審な電話番号からの不審な電話への相談が増加している。警察や関係機関との情報共有を強化し、適切なアドバイスが行えるよう職員のスキルアップを図る必要がある。

市内の交通事故発生件数は、増加したが、死亡事故については昨年に引き続き0件を維持している。福井県は信号機のない横断歩道での歩行者横断時における車の一時停止率が全国ワースト3位であることから、県と協力し横断歩道での手上げを促す路面シートを設置するなどし、市民への周知を図った。

特定空家等対策について、令和6年度は新たに2棟を認定し、温泉街の景観悪化が懸念されていた元旅館「角惣」が除却されとともに、所有者不明の空き家2件を略式代執行により除却したため、3件の減となり、周辺の生活環境の改善が図られた。

参考：事務事業の重点指標達成率の推移



■ 行政評価内部評価委員会の意見

(前年度)

交通事故数や犯罪数などは警察の分野として考えられがちであるが、市として連携できる部分を検討されたい。

(今年度)

警察やその他関係団体との連携を図り、特に高齢者に対する交通安全の啓発に努められたい。

■ 行政評価外部評価委員会の意見

(前年度)

消費者保護対策に関して、犯罪が多様化しているため、特に高齢者が犯罪に巻き込まれないような対策を検討されたい。

(今年度)

空き家に対する対策と利活用をより推進されたい。

■ 施策を構成する主な事務事業

No.	事務事業名	主要施策の成果 該当ページ数	事務事業の重点指標								所管課	備考
			指標名	方向	単位	R4	R5	R6	最終			
1	防犯対策の充実・強化	19	防犯灯補助金の申請実績がない地区数	↓	区	実績 達成率	2.0 100.0%	2.0 100.0%	2.0 100.0%	2.0	危機管理課	
2	防犯隊活動の充実	19	防犯隊員数	↑	人	実績 達成率	101.0 84.2%	100.0 83.3%	96.0 80.0%	120.0	危機管理課	
3	暴力追放運動の推進	—	犯罪が少なく安心して暮らせると思っている人の割合	↑	%	実績 達成率	79.2 90.5%	79.0 90.3%	78.6 89.8%	87.5	危機管理課	
4	交通安全教育の充実	74	交通安全教育の実施回数	↑	回	実績 達成率	290.0 290.0%	122.0 122.0%	106.0 106.0%	100.0	生活環境課	
5	交通安全団体との連携	74	各種団体と合同で実施したイベント・啓発活動回数	↑	回	実績 達成率	11.0 91.7%	14.0 116.7%	8.0 66.7%	12.0	生活環境課	
6	交通安全施設の整備・管理	73,74	交通事故発生件数	↓	件	実績 達成率	28.0 107.1%	21.0 142.9%	41.0 73.2%	30.0	建設課	
7	交通安全対策の充実	73,74	交通事故発生件数	↓	件	実績 達成率	28.0 107.1%	21.0 142.9%	41.0 73.2%	30.0	生活環境課	
8	関係機関との連携強化	75	消費生活相談件数	↑	件	実績 達成率	148.0 148.0%	121.0 121.0%	112.0 112.0%	100.0	生活環境課	
9	消費者の意識啓発	75	出前講座や意識啓発活動の開催数	↑	回	実績 達成率	27.0 54.0%	35.0 70.0%	27.0 54.0%	50.0	生活環境課	
10	空き家の発生予防・適正管理の推進	64	空家等無料相談会の開催	→	件	実績 達成率	1.0 -	2.0 -	1.0 -	2.0	市民協働課	
11	特定空家等対策	66	特定空家等の減	↓	件	実績 達成率	9.0 88.9%	7.0 114.3%	6.0 133.3%	8.0	市民協働課	
12	空き家の利活用	65	空き家情報バンク登録数	→	件	実績 達成率	31.0 -	42.0 -	53.0 -	20.0	市民協働課	
13						実績 達成率						
14						実績 達成率						
15						実績 達成率						
16						実績 達成率						
17						実績 達成率						
18						実績 達成率						
19						実績 達成率						
20						実績 達成率						

令和7年度 施策評価シート（令和6年度実績）

施策番号

5

施策の分野	action2（健康）	基本施策名	保健医療の充実	施策担当課	健康長寿課
				関係課	市民課、子育て支援課
施策の目的	すべての市民が安心して健やかに暮らしていくために、特定健診やがん検診、母子健診などの受診を促進するとともに、各種相談体制の充実や、救急医療の強化、かかりつけ医制度の奨励・普及などの取組を進める。				

■ 施策のKPI

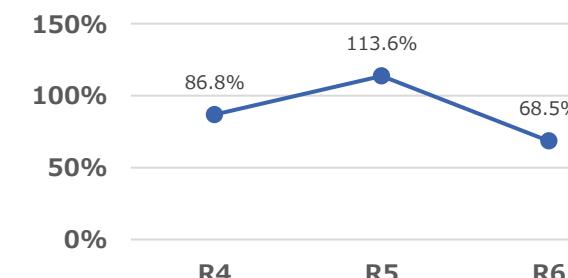
KPI	単位	R3	R4	R5	R6	R7	目標
特定健診受診率	%	32.2	33.7	34.4	35.1		40.0
各種がん検診受診率	%	30.2	38.0	38.0	38.6		40.0

■ KPIの推移に関する要因分析・評価、達成に向けて今後取り組む事項（施策担当課・関係課）

各種健診や予防接種事業は、関係機関と連携を図りながら3課で取り組んでいる。

特定健診については、令和5年度に引き続き、受診率は緩やかに上昇傾向にある。未受診者への通知や電話による個別勧奨、健康結果説明会の開催など、継続的な啓発活動が一定の効果を上げているものと考えられる。今後も、対象者の状況に応じたきめ細やかな勧奨や、受診しやすい環境づくりに努め、更なる受診率向上を図る。

参考：事務事業の重点指標達成率の推移



■ 行政評価内部評価委員会の意見

(前年度)

健診の受診について、受診料の見直しや利用しやすい申込方法の検討など、受診率向上に向けて工夫して取り組まれたい。

(今年度)

集団歯科検診から個別検診への移行など、状況に応じて、適切な取り組みを検討されたい。

■ 行政評価外部評価委員会の意見

(前年度)

行政評価内部評価委員会の意見はおおむね妥当と認める。

(今年度)

行政評価内部評価委員会の意見はおおむね妥当と認める。

■ 施策を構成する主な事務事業

No.	事務事業名	主要施策の成果 該当ページ数	事務事業の重点指標								所管課	備考
			指標名	方向	単位	R4	R5	R6	最終			
1	市民健診の推進と保健指導	216	特定健康診査受診率	↑	%	実績 達成率	33.7 84.3%	34.4 86.0%	35.1 87.8%	40.0	市民課、健康長寿課	
2	予防接種の推進	99	子どもの定期予防接種の平均接種率(子宮頸がんワクチンは除く)	↑	%	実績 達成率	89.7 89.7%	97.8 97.8%	99.7 99.7%	100.0	子育て支援課、健康長寿課	R6：子宮頸がんワクチン・五種混合ワクチンを除く。65歳以上対象：インフルエンザ48.3%、肺炎球菌19.9%、コロナ20.2%
3	歯科保健指導の充実	107	集団歯科健診受診者	↑	人	実績 達成率	30.0 50.0%	32.0 53.3%	24.0 40.0%	60.0	子育て支援課、健康長寿課	
4	感染症予防対策の充実	—	広報媒体のマニュアル化	↑	媒体	実績 達成率	3.0 100.0%	3.0 100.0%	3.0 100.0%	3.0	健康長寿課	
5	新しい生活様式の啓発・普及	—	広報、Facebook、ホームページ等で周知	→	件	実績 達成率	3.0 -	0.0 -	0.0 -	5.0	健康長寿課	
6	ワクチン接種体制の構築	—	初回接種（2回目）ワクチン接種率	↑	%	実績 達成率	84.0 93.3%	78.4 87.1%	- -	90.0	健康長寿課	R5年度をもって新型コロナワイルスワクチン特例臨時接種は終了した。
7	母子健康診査と指導の充実	95	幼児健診（1歳6か月児健診、3歳児健診）受診率	↑	%	実績 達成率	99.7 99.7%	98.4 98.4%	97.9 97.9%	100.0	子育て支援課	
8	救急医療体制の整備・充実	—	嶺北救急搬送患者に対する市の患者割合	→	%	実績 達成率	2.9 -	5.0 -	4.4 -	2.0	健康長寿課	
9	かかりつけ医の推奨	—	地域医療支援病院紹介率（平均値）	↑	%	実績 達成率	69.8 107.4%	77.0 118.5%	年度末 -	65.0	健康長寿課	
10	保健センター機能の充実	—	保健センター利用件数	↑	件	実績 達成率	171.0 42.8%	165.0 41.3%	214.0 53.5%	400.0	健康長寿課	
11	総合的な支援体制の強化	—	あわら市における人口10万人当たりの自殺者数	↓	人	実績 達成率	7.3 95.9%	3.7 189.2%	15.3 45.8%	7.0	健康長寿課	
12	ライフステージ別の対策の充実	—	あわら市における人口10万人当たりの自殺者数	↓	人	実績 達成率	7.3 95.9%	3.7 189.2%	15.3 45.8%	7.0	健康長寿課	
13	ハイリスク者への支援強化	—	あわら市における人口10万人当たりの自殺者数	↓	人	実績 達成率	7.3 95.9%	3.7 189.2%	15.3 45.8%	7.0	健康長寿課	
14						実績 達成率						
15						実績 達成率						
16						実績 達成率						
17						実績 達成率						
18						実績 達成率						
19						実績 達成率						

令和7年度 施策評価シート（令和6年度実績）

施策番号

6

施策の分野	action2（健康）	基本施策名	健康づくり活動の実践	施策担当課	健康長寿課
				関係課	
施策の目的	伝承料理をはじめとする「食」やウォーキングなどの「運動」に着目した健康づくり事業を展開し、市民一人一人が健康に関心を深め、自分の健康は自分で守るという意識を高め実践していくよう推進する。				

■ 施策のKPI

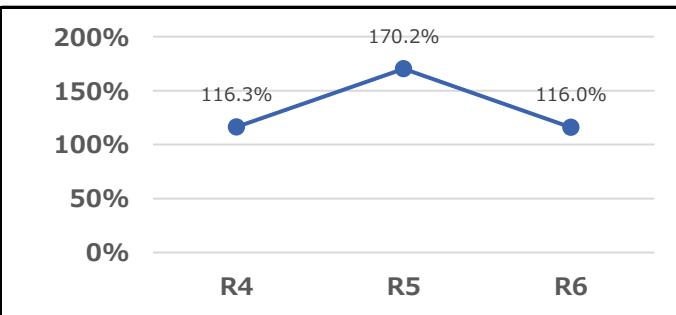
KPI	単位	R3	R4	R5	R6	R7	目標
市民の健康維持・健康づくりなどへのサポートが進んでいると考える市民の割合	%	51.1	49.0	50.2	50.0		60.0
朝食を食べない中学生の割合（↓）	%	2.1	1.3	2.0	3.5		0.0

■ KPIの推移に関する要因分析・評価、達成に向けて今後取り組む事項（施策担当課・関係課）

おばあちゃんの味の日試食会や親子料理教室等において、伝承料理普及に取り組んでおり、参加者数も年々増加傾向にある。

朝食欠食率の低下対策として、食生活改善推進員による小学校での出前講座を継続して行っている。令和7年度には新たな試みとして中学生向けの食育講座を実施した。今後も継続して、中学生が食育に興味をもつような内容、参加しやすい日程等で今後も検討していきたい。

参考：事務事業の重点指標達成率の推移



■ 行政評価内部評価委員会の意見

(前年度)

健康づくりについて、県の事業とも連携して、継続して取り組まれたい。
ウォーキングイベントなど、市内の施設等を活用した実施を検討されたい。

(今年度)

連携協定を結んでいる企業と連携して、イベント数の増加に取り組まれたい。
どのようなイベントがあって、どのくらいの参加者数がいるのか見えると良い。

■ 行政評価外部評価委員会の意見

(前年度)

健康づくりに関して、ウォーキングアプリの導入など活動へのきっかけづくりの創出にも取り組まれたい。

(今年度)

児童・生徒の朝食の欠食対策について、指標を統一するなどして、施策を適切に評価できるように調整されたい。

■ 施策を構成する主な事務事業

No.	事務事業名	主要施策の成果 該当ページ数	事務事業の重点指標								所管課	備考
			指標名	方向	単位	R4	R5	R6	最終			
1	健康に対する意識の醸成	—	市民の健康維持・健康づくりなどへのサポートが進んでいると考える市民の割合	↑	%	実績 達成率	49.0 81.7%	50.2 83.7%	50.0 83.3%	60.0	健康長寿課	
2	生活習慣病の予防	—	メタボリックシンドローム該当者及び予備群の該当率	↓	%	実績 達成率	34.1 73.3%	33.4 74.9%	32.7 76.5%	25.0	健康長寿課	
3	食育推進計画の推進	—	朝食欠食児童生徒数割合	↓	%	実績 達成率	1.0 300.0%	0.6 500.0%	1.1 272.7%	3.0	健康長寿課	
4	健全な食生活の実践	106	伝承料理事業参加者数	↑	人	実績 達成率	102.0 10.2%	223.0 22.3%	313.0 31.3%	1,000.0	健康長寿課	
5						実績 達成率						
6						実績 達成率						
7						実績 達成率						
8						実績 達成率						
9						実績 達成率						
10						実績 達成率						
11						実績 達成率						
12						実績 達成率						
13						実績 達成率						
14						実績 達成率						
15						実績 達成率						
16						実績 達成率						
17						実績 達成率						
18						実績 達成率						
19						実績 達成率						
20						実績 達成率						

令和7年度 施策評価シート（令和6年度実績）

施策番号

7

施策の分野	action2（健康）	基本施策名	地域福祉の推進と災害支援	施策担当課	福祉課
				関係課	総務課、健康長寿課
施策の目的	民生委員・児童委員やボランティア団体、社会福祉協議会などと連携しながら地域福祉の充実を図るとともに、災害ボランティアの派遣と受入れのマニュアル化など、大規模災害の発生に備えたまちづくりを進める。				

■ 施策のKPI

KPI	単位	R3	R4	R5	R6	R7	目標

■ KPIの推移に関する要因分析・評価、達成に向けて今後取り組む事項（施策担当課・関係課）

本市の民生委員の定数に対する充足率は96.9%と全国平均（94.5%）をやや上回っている一方で、「業務が負担」「高齢者の就労率が高くなり、適任者が見つからない」などのなり手不足が課題となっている。現民生委員と課題解決に向けた協議を行ったところ、委員から「大変な業務もあるがやりがいもある」、「最初は活動内容が分からなかったので不安だった」などの意見があった。今後、活動内容に興味が持てるような普及啓発や引継ぎの際のチェックリストの見直しについて取り組む予定である。R7.12月に民生委員の改選が予定されており、各地区の委員推薦について区長とも連携を図る。

参考：事務事業の重点指標達成率の推移



■ 行政評価内部評価委員会の意見

(前年度)

民生委員の担い手が不足することが想定されるため、各地区の状況を把握し、計画的に確保対策を進められたい。

(今年度)

民生委員の担い手不足について、制度改正の国への要望も含めて、適切に取り組まれたい。

■ 行政評価外部評価委員会の意見

(前年度)

民生委員等に関して、今後ますます人材確保が難しくなると思われる所以、長期的に継続できるように、現行の仕組みの見直しを含めて今後の方針を検討されたい。

(今年度)

民生委員については、人員の確保だけでなく、活動内容の充実に努められたい。

■ 施策を構成する主な事務事業

No.	事務事業名	主要施策の成果 該当ページ数	事務事業の重点指標								所管課	備考
			指標名	方向	単位	R4	R5	R6	最終			
1	地域福祉活動支援事業	-	高齢者や身体に障害のある人が生活しやすいまちだと考える市民の割合	↑	%	実績 達成率	33.3 95.1%	31.6 90.3%	29.5 84.2%	35.0	福祉課	
2	民生委員・児童委員との連携・支援		民生委員・児童委員の活動件数			実績 達成率	6,480.0 79.0%	6,671.0 81.4%	6,636.0 80.9%	8,200.0		
3	災害ボランティア活動の充実	-	ボランティアの育成	↑	人	実績 達成率	1,424.0 129.5%	1,116.0 101.5%	1,098.0 99.8%	1,100.0	福祉課	
4	災害被災者の支援		災害時要援護者台帳への登載対象障害者登載率			実績 達成率	14.4 28.8%	15.2 30.4%	12.6 25.2%	50.0		総務課、福祉課、健康長寿課
5	戦没者の追悼と援護事務の充実	-	戦没者追悼式の出席率	→	%	実績 達成率	14.2 -	15.5 -	21.0 -	40.0	福祉課	
6						実績 達成率						
7						実績 達成率						
8						実績 達成率						
9						実績 達成率						
10						実績 達成率						
11						実績 達成率						
12						実績 達成率						
13						実績 達成率						
14						実績 達成率						
15						実績 達成率						
16						実績 達成率						
17						実績 達成率						
18						実績 達成率						
19						実績 達成率						
20						実績 達成率						

令和7年度 施策評価シート（令和6年度実績）

施策番号

8

施策の分野	action2（健康）	基本施策名	人権の尊重	施策担当課	市民協働課
				関係課	福祉課
施策の目的	子どもも高齢者も、男性も女性も、障害のある人もない人も、日本人も外国人も、全ての人が相手の人権を尊重し、ともに生き、支えあう社会の実現を目指す。				

■ 施策のKPI

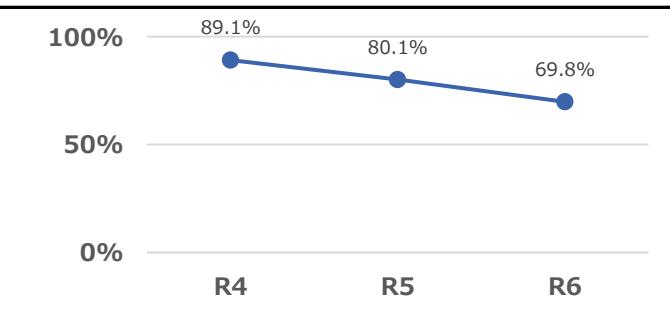
KPI	単位	R3	R4	R5	R6	R7	目標
各種審議会委員に占める女性委員の割合	%	29.5	32.7	32.2	30.2		40.0

■ KPIの推移に関する要因分析・評価、達成に向けて今後取り組む事項（施策担当課・関係課）

各種審議会委員に占める女性委員の割合は、対前年比で2ポイント減の30.2%となった。女性登用が50%を超える審議会等もある中、女性委員の登用割合が0%の審議会等も7団体見受けられた。今後も行政推進会議などを通して、全庁的に各団体に対し、幅広く女性登用を呼びかけていく。

また年々、男女共同参画つどいの参加人数が減っており、これまでのプログラムを見直し、市民に関心を持ってもらえるような内容を考えていく必要がある。パパ向け親子の料理教室を開催するなど、男性の育休取得率の向上や、地域、家庭にいける男性の家事参加・協力への意識の向上を図ることが重要である。また、今後は企業訪問等を通じて、男女が働きやすい職場づくりを進める企業を紹介するなど、市内企業への普及・啓発に努めていく。

参考：事務事業の重点指標達成率の推移



■ 行政評価内部評価委員会の意見

(前年度)

女性が悩みを相談しやすく、暮らしやすいまちがどのようなものかを考えながら、女性のニーズを把握し、総合的な視点で施策を検討されたい。

(今年度)

セクシャルハラスメントなどのセンシティブな悩みを抱える方に対して、サポート制度の周知を徹底することが重要である。

外国人の相談窓口や活動支援などのサポート体制についても検討されたい。

■ 行政評価外部評価委員会の意見

(前年度)

行政評価内部評価委員会の意見はおおむね妥当と認める。

(今年度)

行政評価内部評価委員会の意見はおおむね妥当と認める。

■ 施策を構成する主な事務事業

No.	事務事業名	主要施策の成果 該当ページ数	事務事業の重点指標								所管課	備考
			指標名	方向	単位	△	R4	R5	R6	最終		
1	人権教育の推進	85	相談所開設回数	↑	回	実績 達成率	24.0 104.3%	23.0 100.0%	24.0 104.3%	23.0	福祉課	
2	男女共生社会の推進	62	「感謝状」作品応募数	↑	点	実績 達成率	492.0 49.2%	176.0 17.6%	329.0 32.9%	1,000.0		市民協働課
3	男女平等意識の啓発	62	男女共同参画つどいの参加人数	↑	人	実績 達成率	205.0 113.9%	221.0 122.8%	130.0 72.2%	180.0	市民協働課	
4	女性に対するあらゆる暴力の根絶	—	相談窓口及び電話による相談の件数	→	件	実績 達成率	1.0 -	1.0 -	4.0 -	5.0		市民協働課
5	働きやすい環境づくりの推進	63	研修会参加者数	→	人	実績 達成率	123.0 -	163.0 -	156.0 -	150.0	市民協働課	
6						実績 達成率						
7						実績 達成率						
8						実績 達成率						
9						実績 達成率						
10						実績 達成率						
11						実績 達成率						
12						実績 達成率						
13						実績 達成率						
14						実績 達成率						
15						実績 達成率						
16						実績 達成率						
17						実績 達成率						
18						実績 達成率						
19						実績 達成率						
20						実績 達成率						

令和7年度 施策評価シート（令和6年度実績）

施策番号

9

施策の分野	action2（健康）	基本施策名	高齢者福祉と介護保険の充実	施策担当課	健康長寿課
				関係課	
施策の目的	介護保険サービスや高齢者に対する各種福祉サービスの充実を図るとともに、元気な高齢者に対しては意欲的に社会活動に参加できる仕組みづくりを積極的に進め、高齢者が生涯安心して暮らせるよう、医療・介護・介護予防のほか、住まい・生活支援サービスを切れ目なく提供する地域包括ケアシステムの構築と充実した介護保険制度の運営を行う。				

■ 施策のKPI

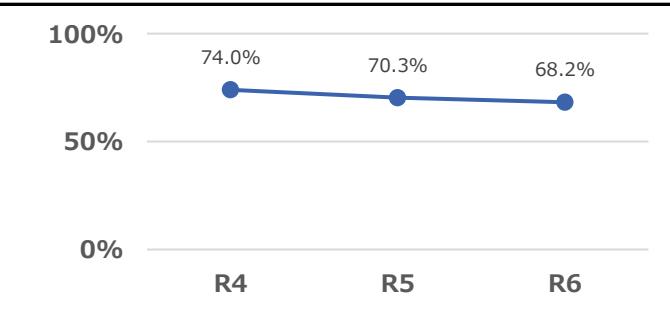
KPI	単位	R3	R4	R5	R6	R7	目標
高齢者や障がいのある人が生活しやすいまちだと考えている人の割合	%	29.5	33.3	31.6	29.5		35.0
総人口に占める要支援および要介護認定者の割合（↓）	%	5.7	5.8	5.9	6.1		6.0

■ KPIの推移に関する要因分析・評価、達成に向けて今後取り組む事項（施策担当課・関係課）

総人口に占める要支援および要介護認定者の割合は、微増傾向にあるが、これは、認定者数自体は大きく変わらないものの、それ以上に、総人口の減少が大きいためと考えられる。また、総人口の減少に起因して上昇しているのが高齢化率（R6 34.8%）であるが、高齢者数は、減少傾向にあり、少子高齢化が進行している。

このような中において、高齢者が生涯を通して、生きがいや楽しみを持って暮らせる「支え合い・助け合い」のまちを目指し、各種施策を推進していく。高齢者が気軽に通える、通いの場などの居場所づくりをはじめ、元気高齢者の社会参加を推進する一方で、フレイル予防や認知症予防など、高齢者の健康づくりと介護予防を一体的に実施するなど、地域包括ケアシステムのより一層の深化・推進を図っていく。また、高齢者の生活の安心のためには、「地域での見守り・支えあう体制」の強化が重要となるため、関係機関や民間企業と連携し、地域ネットワークの充実に努める。

参考：事務事業の重点指標達成率の推移



■ 行政評価内部評価委員会の意見

(前年度)

高齢者ならではの不便さがあると思われるため、そういう方に暮らしやすいまちづくりを意識して、高齢者を総合的に支援するという視点で、施策に取り組まれたい。

(今年度)

高齢者福祉に関して、本市で足りない部分の把握に努めて、適切な取り組みを推進されたい。特に高齢者が安心して、健康に暮らせる取り組みについて、今一度検討されたい。

■ 行政評価外部評価委員会の意見

(前年度)

行政評価内部評価委員会の意見はおおむね妥当と認める。

(今年度)

高齢者福祉の取り組みについて、市民への効果的な周知方法を検討されたい。

■ 施策を構成する主な事務事業

No.	事務事業名	主要施策の成果 該当ページ数	事務事業の重点指標								所管課	備考
			指標名	方向	単位	R4	R5	R6	最終			
1	高齢者福祉計画の推進	—	高齢者や身体に障がいのある人が生活しやすいまちだと考える市民の割合	↑	%	実績 達成率	33.3 95.1%	31.6 90.3%	29.5 84.3%	35.0	健康長寿課	
2	高齢者の生きがいと健康づくりの推進	105	老人クラブ加入率	↑	%	実績 達成率	29.0 58.0%	27.3 54.6%	25.6 51.3%	50.0	健康長寿課	
3	金津雲雀ヶ丘寮の運営	105	月平均の稼働率	↑	%	実績 達成率	89.9 89.9%	70.9 70.9%	74.1 74.1%	100.0	健康長寿課	
4	養護老人ホーム入所措置事業の適正な運営	101	月平均の入所者数	→	人	実績 達成率	65.0 -	57.0 -	62.0 -	75.0	健康長寿課	
5	老人センターの管理運営	105	施設 延利用者数	→	人	実績 達成率	2,622.0 -	2,922.0 -	3,673.0 -	8,000.0	健康長寿課	
6	在宅福祉の充実	101	高齢者や身体に障がいのある人が生活しやすいまちだと考える市民の割合	↑	%	実績 達成率	33.3 93.8%	31.6 89.0%	29.5 83.2%	35.5	健康長寿課	
7	介護保険制度の適正な運営	101	介護保険料収納率（普通徴収分）	↑	%	実績 達成率	90.0 90.0%	90.3 90.3%	93.3 93.3%	100.0	健康長寿課	
8	地域包括ケアシステムの充実と運営	103	高齢者や身体に障がいのある人が生活しやすいまちだと考える市民の割合	↑	%	実績 達成率	33.3 93.8%	31.6 89.0%	29.5 83.2%	35.5	健康長寿課	
9	介護予防事業の推進	102	新規要支援認定者率	↓	%	実績 達成率	1.9 68.4%	1.7 76.5%	2.3 57.4%	1.3	健康長寿課	
10	フレイル予防事業の充実	102	フレイルチェック等参加人数（延人数）	↑	人	実績 達成率	8,078.0 67.3%	9,994.0 83.3%	10,780.0 89.8%	12,000.0	健康長寿課	実績の拾い方を変更したため最終目標値も変更
11	認知症対策の推進	103	安心生活ネットワーク事業事前登録者数	↑	人	実績 達成率	39.0 78.0%	24.0 48.0%	21.0 42.0%	50.0	健康長寿課	
12	介護サービス相談員制度の充実	104	介護サービス相談員の派遣回数	↑	回	実績 達成率	13.0 5.4%	27.0 11.3%	57.0 23.8%	240.0	健康長寿課	
13	介護者への支援	104	家族介護者交流事業参加者数	→	人	実績 達成率	89.0 -	90.0 -	86.0 -	130.0	健康長寿課	
14						実績 達成率						
15						実績 達成率						
16						実績 達成率						
17						実績 達成率						
18						実績 達成率						
19						実績 達成率						
20						実績 達成率						

令和7年度 施策評価シート（令和6年度実績）

施策番号

10

施策の分野	action2（健康）	基本施策名	障害者福祉の充実	施策担当課	福祉課
				関係課	
施策の目的	地域で自立した生活を送ることができるよう、障害を持つ人のニーズに応じた相談体制の充実や福祉サービス、専門的職員の配置、就労の場の確保など地域でいきいきと生活できる総合的な支援を行う。				

■ 施策のKPI

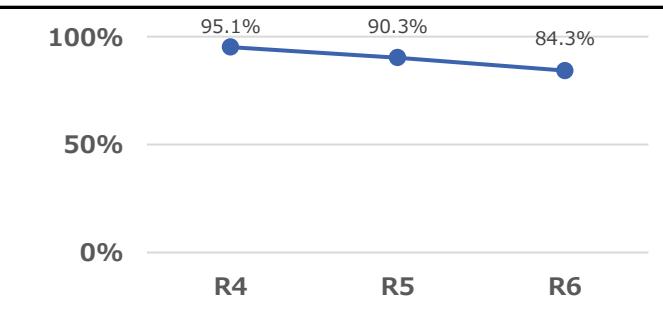
KPI	単位	R3	R4	R5	R6	R7	目標
高齢者や身体に障害のある人が生活しやすいまちだと考えている人の割合	%	29.5	33.3	31.6	29.5		35.0

■ KPIの推移に関する要因分析・評価、達成に向けて今後取り組む事項（施策担当課・関係課）

障がい者のニーズが多様化する中、地域の実情に応じた相談支援体制を強化するため、基幹となる相談支援センターを坂井市との共同設置から市単独設置に移行した。

一方で、長期間ひきこもり状態のため必要な支援が届いていない人や「80・50問題」など複合化したニーズを抱える世帯については、福祉まるごと相談室が中心となり、多機関協働による支援を行った。今後も障害、生活困窮、高齢などの属性や世代を問わない相談や社会参加に向けた支援、地域づくりなどの環境整備を一体的に行っていく。

参考：事務事業の重点指標達成率の推移



■ 行政評価内部評価委員会の意見

(前年度)

障害者が暮らしやすいまちづくりについて、些細なことでも構わないので、検討されたい。
引き続き、福祉まるごと相談所による相談支援の強化を図られたい。

(今年度)

福祉まるごと相談室について、知らなかつたということがないように、制度の周知にしっかり取り組まれたい。

■ 行政評価外部評価委員会の意見

(前年度)

行政評価内部評価委員会の意見はおおむね妥当と認める。

(今年度)

行政評価内部評価委員会の意見はおおむね妥当と認める。

■ 施策を構成する主な事務事業

No.	事務事業名	主要施策の成果 該当ページ数	事務事業の重点指標								所管課	備考
			指標名	方向	単位	実績	R4	R5	R6	最終		
1	障害者福祉計画の推進	-	高齢者や障害のある人が生活しやすいまちだと考える市民の割合	↑	%	実績	33.3	31.6	29.5	35.0	福祉課	
2	障害者福祉サービスと見守り体制の充実		日常生活用具の支給			達成率	95.1%	90.3%	84.3%			
3	就労や社会参加の支援	83	地域活動支援センターの利用	→	件	実績	3,502.0	3,424.0	3,390.0	6,000.0	福祉課	
4	相談体制の充実		委託相談支援事業所における相談件数			達成率	-	-	-	-		
5	意思疎通支援および差別解消意識の向上	82	意思疎通支援者派遣	→	件	実績	12.0	16.0	15.0	25.0	福祉課	
6	障がい者虐待の未然防止・早期発見		障がい者虐待に関する相談、通報件数			達成率	-	-	-			
7	権利擁護体制の充実	-	市長申立て件数	→	件	実績	1.0	2.0	1.0	2.0	福祉課	
8						達成率	-	-	-			
9						実績						
10						達成率						
11						実績						
12						達成率						
13						実績						
14						達成率						
15						実績						
16						達成率						
17						実績						
18						達成率						
19						実績						
20						達成率						

施策の分野	action2（健康）	基本施策名	児童福祉の充実	施策担当課	子育て支援課
				関係課	
施策の目的	幼児教育の推進による就学前教育と保育サービスの充実を図るとともに、子育て世代包括支援センター及び子育て支援センターを核とした各種子育て支援策の展開など子育て環境の整備と充実を推進し、全ての子どもたちが健やかに成長することができるまちづくりを進める。				

■ 施策のKPI

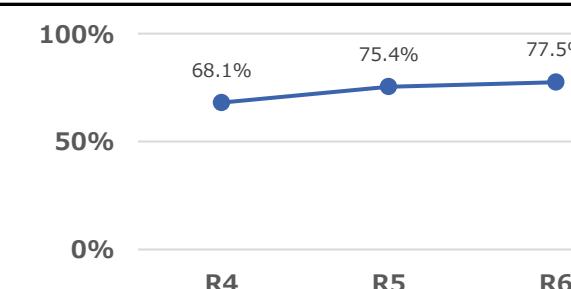
KPI	単位	R3	R4	R5	R6	R7	目標
妊娠期からの相談や経済的支援などの子育て環境が充実していると考える市民の割合	%	35.1	34.9	38.7	35.8		65.0
こども園における幼児教育が充実していると考える市民の割合	%	47.7	48.2	50.5	50.1		65.0

■ KPIの推移に関する要因分析・評価、達成に向けて今後取り組む事項（施策担当課・関係課）

子育て支援センターでは、ホームページや市公式LINEでの発信を増やすなど、子育て世帯への周知を強化したことで、利用者数や各種イベント等の参加数が増加した。さらに、相談業務については、こども家庭センターと連携し、きめ細かな支援体制となっている。また、放課後子どもクラブでは、小学校の児童数は減少傾向にあるが、クラブの利用者は増加傾向となっている。一方で児童への細やかなサポートや様々なニーズへの対応が現場に求められるため、令和7年度は、一部のクラブを民間委託し、評価や利用者ニーズ等を鑑み、順次委託を進めていく。

令和6年度に子育て支援課に設置した「こども家庭センター」では、母子保健と児童福祉の連携を強化し、支援を要する家庭に対する包括的な支援体制を整備した。近年の家庭問題は、複雑化しており、支援も長期化する傾向にあるため、関係機関との連携も行なながら、効果的な支援を実施していく。

参考：事務事業の重点指標達成率の推移



■ 行政評価内部評価委員会の意見

(前年度)

子育て支援ガイド等により、子育て支援施策の全体像の見える化を図られたい。
放課後子どもクラブについても、人員が不足する中で継続していく施策を検討されたい。

(今年度)

引き続き、子育て支援ガイド等により、子育て支援施策の全体像について、しっかりとした制度の見える化を図られたい。

■ 行政評価外部評価委員会の意見

(前年度)

子育て施策の周知に関して、市民に十分行き届いていないと思われるため、情報発信の取組について検討されたい。

(今年度)

子育て支援の取り組みについて、市民への効果的な周知方法を検討されたい。

■ 施策を構成する主な事務事業

No.	事務事業名	主要施策の成果 該当ページ数	事務事業の重点指標								所管課	備考
			指標名	方向	単位	R4	R5	R6	最終			
1	子育て世代包括支援センター事業の充実	95,96	産後1ヶ月程度、指導やケアが十分に受けられたと感じる者の割合	↑	%	実績 達成率	88.2 92.8%	87.2 91.8%	84.9 89.4%	95.0	子育て支援課	
2	子育て支援センターの運営と充実	92	センター延べ利用者数	→	組	実績 達成率	4,494.0 -	4,605.0 -	5,163.0 -	7,300.0	子育て支援課	
3	認定こども園における保育・教育サービスの充実	90	認定こども園における幼児教育が充実していると考える市民の割合	↑	%	実績 達成率	48.2 80.3%	50.5 84.2%	50.1 83.5%	60.0	子育て支援課	
4	私立認定こども園の支援	90	私立認定こども園定員充足率	→	%	実績 達成率	105.7 -	104.0 -	107.0 -	100.0	子育て支援課	
5	放課後子どもクラブの運営	94	放課後子どもクラブの定員充足率	→	%	実績 達成率	101.4 -	96.0 -	114.9 -	100.0	子育て支援課	
6	ひとり親家庭の支援	98,99	母子父子自立支援員への相談件数	↑	件	実績 達成率	169.0 42.3%	170.0 42.5%	137.0 34.3%	400.0	子育て支援課	
7	支援の必要な児童などの早期発見と支援	96,97	要対協進行管理件数のうち終結件数の割合	↑	%	実績 達成率	21.2 84.8%	16.4 65.6%	15.8 63.2%	25.0	子育て支援課	
8	地域や家庭における子育ての支援	92	1回当たりの参加人数(子育て支援センター行事への年参加人数/年実施回数)	↑	人	実績 達成率	10.0 50.0%	20.8 104.0%	27.0 135.0%	20.0	子育て支援課	
9	あわらっこ子育て支援の充実	95,96	妊娠期からの相談や経済的支援などの子育て環境が充実していると考える市民の割合	↑	%	実績 達成率	34.9 58.2%	38.7 64.5%	35.8 59.7%	60.0	子育て支援課	
10						実績 達成率						
11						実績 達成率						
12						実績 達成率						
13						実績 達成率						
14						実績 達成率						
15						実績 達成率						
16						実績 達成率						
17						実績 達成率						
18						実績 達成率						
19						実績 達成率						
20						実績 達成率						

施策の分野	action2（健康）	基本施策名	社会保障制度の充実	施策担当課	市民課
				関係課	税務課、福祉課
施策の目的	制度や社会情勢の変化に的確に対応しながら、国民健康保険制度や後期高齢者医療制度、国民年金制度などの運営を行うとともに、生活困窮者に対する支援を行い、各種社会制度の適正な運営を図る。				

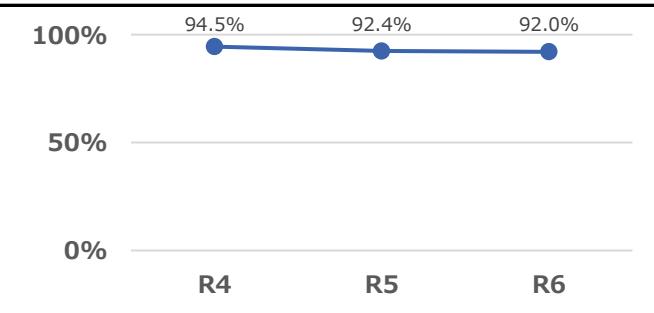
■ 施策のKPI

KPI	単位	R3	R4	R5	R6	R7	目標
1人当たり国民健康保険医療費（↓）	円	457,679.0	460,639.0	490,794.0	500,093.0		400,000.0
国民健康保険税の収納率	%	96.6	96.9	96.6	96.5		100.0
生活保護被保護世帯数（↓）	世帯	110.0	109.0	115.0	118.0		108.0

■ KPIの推移に関する要因分析・評価、達成に向けて今後取り組む事項（施策担当課・関係課）

国民健康保険加入者の高齢化により1人当たりの医療費は年々増加傾向となっている。今後も医療の高度化も伴い増加傾向が続くことが予想されるため、引き続き後発医薬品の普及啓発を行うとともに、疾病の早期発見・早期治療を推奨する。また、保険税の収納については、引き続き公平かつ適正な賦課・徴収、不納欠損処理を行い、健全な財政を目指す。生活保護被保護世帯数については、高齢や傷病に伴う失業を理由とした保護申請が増えている。心身の状況に配慮しながら、就労支援や家計改善支援など自立に向けた支援を継続的に行っていく。

参考：事務事業の重点指標達成率の推移



■ 行政評価内部評価委員会の意見

(前年度)

医療費の増加を防ぐため、不要な受診を呼びかけるとともに、救急車の不要な利用を自重するよう周知されたい。

(今年度)

国民健康保険の加入者数は減っているのに対して、医療費は増加傾向にある。健康寿命は重要であるため、健康分野とも連携して、医療費減につながる取り組みを検討されたい。

■ 行政評価外部評価委員会の意見

(前年度)

行政評価内部評価委員会の意見はおおむね妥当と認める。

(今年度)

行政評価内部評価委員会の意見はおおむね妥当と認める。

■ 施策を構成する主な事務事業

No.	事務事業名	主要施策の成果 該当ページ数	事務事業の重点指標								所管課	備考
			指標名	方向	単位	R4	R5	R6	最終			
1	国民健康保険事業の運営	214	1人当たり国民健康保険医療費	↓	千円	実績 達成率	461.0 86.8%	491.0 81.5%	500.0 80.0%	400.0	市民課	
2	国民健康保険税の適正な賦課と徴収		現年度分収納率（国保分）	↑	%	実績 達成率	96.9 96.9%	96.6 96.6%	96.5 96.5%	100.0		
3	疾病予防事業の実施	216	人間ドック受診者数	→	人	実績 達成率	219.0 -	214.0 -	214.0 -	220.0	市民課	
4	後期高齢者医療制度の運営		保険料収納率（普通徴収）	↑	%	実績 達成率	98.7 99.7%	98.1 99.1%	98.6 99.6%	99.0		
5	国民年金啓発活動の推進	70	相談台帳の件数	→	件	実績 達成率	2,242.0 -	2,193.0 -	2,349.0 -	3,000.0	市民課	
6	生活困窮者への支援		生活保護費保護世帯数	→	世帯	実績 達成率	109.0 -	115.0 -	118.0 -	110.0		
7						実績 達成率						
8						実績 達成率						
9						実績 達成率						
10						実績 達成率						
11						実績 達成率						
12						実績 達成率						
13						実績 達成率						
14						実績 達成率						
15						実績 達成率						
16						実績 達成率						
17						実績 達成率						
18						実績 達成率						
19						実績 達成率						
20						実績 達成率						

令和7年度 施策評価シート（令和6年度実績）

施策番号

13

施策の分野	action3（教育）	基本施策名	学校教育の充実	施策担当課	教育総務課
				関係課	
施策の目的	あわら市教育に関する大綱の「ふるさとを愛し、一人一人が夢や希望を持ち個性が輝く教育」を基本理念とし、ふるさと愛を高め、子どもたちに「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」をバランスよく身に付けさせる「総合的な学力」を育成する。				

■施策のKPI

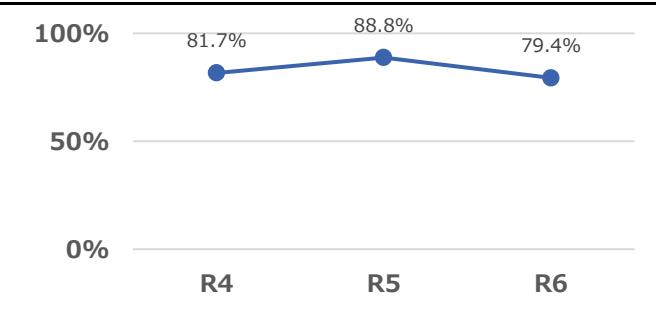
KPI	単位	R3	R4	R5	R6	R7	目標
小・中学校の施設が充実し、学習しやすい環境が整備されていると考える市民の割合	%	48.5	49.4	51.4	49.5		60.0

■KPIの推移に関する要因分析・評価、達成に向けて今後取り組む事項（施策担当課・関係課）

KPIについては横ばいであるため、以下の取組を行い、目標を達成する。

- ・学習環境の整備では、個々の児童生徒が必要とする支援の実態に合わせて、教科補充のための講師や学習指導員等を市費で配置するなど、児童生徒の育成と教職員の負担軽減に取り組んでいる。今後とも学校教育を支える支援員の適正配置に努めたい。
- ・学校設備等の環境整備では、令和6年度は小学校のトイレの改修、金津中学校グラウンドの整備を行っている。令和7年度は、各小学校の理科室の空調設備及び両中学校の体育館の空調設備を整備し、引き続き安全・安心な教育環境の充実を目指す。
- ・ICT機器の活用については、令和6年度からICT教育指導員によるタブレットを効果的に活用した授業方法を周知するほか、より有用で安価なドリル教材の調査検討を実施している。また、令和7年度は、教職員の校務用PCをノート型にし、授業や会議で活用するほか、情報共有の効率を向上させるなど、ICT教育に関する環境の整備を行う。
- ・不登校対策としては、校内サポートルーム相談員の設置や適応指導教室の学習指導員を増員するなどの対策を強化している。

参考：事務事業の重点指標達成率の推移



■行政評価内部評価委員会の意見

(前年度)

不登校や引きこもりの児童生徒が増加傾向にあるが、支援策について検討されたい。
また、学校設備についても計画的に整備されたい。

(今年度)

学校施設の環境ももちろん重要であるが、子どもに対してどのような教育がなされているのかが最も重要である。
子どもが将来に希望を持てるよう子どもに着目した事業を展開されたい。

■行政評価外部評価委員会の意見

(前年度)

学校施設の整備について、学校のインターネット環境の強化に関する検討されたい。
不登校の子などの支援が必要な子の親への支援についても焦点を当てて施策を検討されたい。

(今年度)

児童・生徒数が減少する中で、クラスの規模やスクールバスなど多面的な視点から、行政の財政面も考慮して、学校規模の適正化について、検討されたい。

■ 施策を構成する主な事務事業

No.	事務事業名	主要施策の成果 該当ページ数	事務事業の重点指標								所管課	備考
			指標名	方向	単位	R4	R5	R6	最終			
1	確かな学力の育成	177,178	教科補充講師の加配数	↑	人	実績 達成率	4.0 133.3%	6.0 200.0%	4.0 133.3%	3.0	教育総務課	
2	豊かな心と健やかな身体の育成	－	朝食を毎日食べている児童生徒の割合	↑	%	実績 達成率	87.7 97.4%	87.9 97.7%	95.3 105.9%	90.0	教育総務課	
3	グローバル化に対応した教育の推進	177,178, 180	学校の授業以外で英語を使う機会がある生徒の割合	↑	%	実績 達成率	- -	34.8 87.0%	- -	40.0	教育総務課	
4	ふるさと教育の充実	180,181	地域の行事に参加している小学生の割合	↑	%	実績 達成率	76.9 85.4%	84.2 93.6%	- -	90.0	教育総務課	
5	キャリア教育の充実	－	将来の夢や目標はもっているという児童の割合	↑	%	実績 達成率	82.3 91.4%	89.0 98.9%	86.6 96.2%	90.0	教育総務課	
6	特別支援教育の充実	177,178	指導教師一人当たりの特別支援学級在級児童生徒数	↓	人	実績 達成率	2.2 156.4%	2.3 150.8%	2.8 123.2%	3.5	教育総務課	
7	教育相談体制の充実	179	不登校児童率	↓	%	実績 達成率	0.7 26.8%	1.1 18.2%	0.8 25.0%	0.2	教育総務課	
8	外国人児童生徒に対する教育環境の整備	177	日本語が不自由な児童生徒に応じた支援員の配置	→	人	実績 達成率	1.0 -	1.0 -	1.0 -	1.0	教育総務課	
9	学校給食の充実	181～183	食中毒及び異物混入並びに食物アレルギーに係る誤食等の事故件数	↓	件	実績 達成率	1.0 0.0%	2.0 0.0%	4.0 0.0%	0.0	教育総務課	
10	安全、安心な教育環境の整備	183～185	改修工事進捗率	↑	%	実績 達成率	42.0 42.0%	42.0 42.0%	42.5 42.5%	100.0	教育総務課	
11	ICT環境の整備	184	各小中学校のICT機器活用率	↑	%	実績 達成率	100.0 100.0%	100.0 100.0%	100.0 100.0%	100.0	教育総務課	
12	教育力や指導力の向上のための対策	177,178	ALT (JETプログラム) 配置率	→	%	実績 達成率	100.0 -	100.0 -	100.0 -	100.0	教育総務課	
13	金津高等学校との連携	－	市内生徒の金津高校への進学割合	↑	%	実績 達成率	33.6 84.1%	35.4 88.4%	35.3 88.3%	40.0	教育総務課	
14						実績 達成率						
15						実績 達成率						
16						実績 達成率						
17						実績 達成率						
18						実績 達成率						
19						実績 達成率						
20						実績 達成率						

令和7年度 施策評価シート（令和6年度実績）

施策番号

14

施策の分野	action3（教育）	基本施策名	青少年の健全育成	施策担当課	文化学習課
				関係課	スポーツ課
施策の目的	家庭や地域、学校が一体となって、放課後や休日などにおけるスポーツ活動や少年愛護センターの運営を通して、子どもたちが社会活動に参加できる仕組みづくりを進めるとともに、個性や長所を発揮できる機会を拡充するなどして、青少年の健全な育成を推進する。				

■ 施策のKPI

KPI	単位	R3	R4	R5	R6	R7	目標
スポーツ少年団児童登録率	%	31.1	30.2	28.6	29.3		38.0

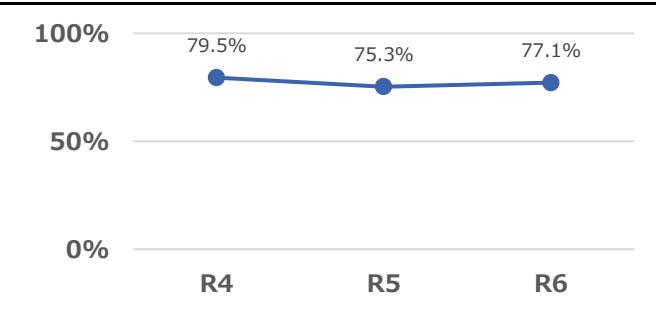
■ KPIの推移に関する要因分析・評価、達成に向けて今後取り組む事項（施策担当課・関係課）

児童の数は年々減少しており、指導者の高齢化、スポーツ活動や習い事、生活の多様化等が、スポーツ少年団の登録率低下の要因と考えられる。さらに、それらの要因により、団の活動休止や合併を余儀なくされる事態も発生している。

このような状況において登録率を増加させるには、スポーツ少年団が、子どもたちのこころとからだの健全育成が目的であること、勝利至上主義だけではないスポーツの楽しさを感じれる活動という、スポーツ少年団の魅力を親と子、双方へ発信する必要があると考える。

また、スポーツの魅力を適切に伝えられる環境づくりも必要なため、指導者の資質向上に向けた研修会の案内や、勉強会を実施していきたい。

参考：事務事業の重点指標達成率の推移



■ 行政評価内部評価委員会の意見

(前年度)

引き続き、青少年の健全育成等に向けた指導に取り組まれたい。
スポーツ少年団についても、習い事が多様化する中で登録数が低下するのは仕方ないものの、安全で質の高い指導に向けて取り組まれたい。

(今年度)

部活動の地域移行を進める中で、日常的にスポーツに接している子どもの数を把握して、その人数を増やす取り組みを考えられると良い。

■ 行政評価外部評価委員会の意見

(前年度)

行政評価内部評価委員会の意見はおおむね妥当と認める。

(今年度)

行政評価内部評価委員会の意見はおおむね妥当と認める。

■ 施策を構成する主な事務事業

No.	事務事業名	主要施策の成果 該当ページ数	事務事業の重点指標								所管課	備考
			指標名	方向	単位	実績	R4	R5	R6	最終		
1	スポーツ少年団活動への支援	205	登録団員割合	↑	%	実績 達成率	30.2 79.5%	28.6 75.3%	29.3 77.1%	38.0	スポーツ課	
2	少年愛護センターの運営	186	愛護センターの補導件数の人口比率	↓	%	実績 達成率	0.0 -	0.0 -	0.0 -	0.0	文化学習課	
3	成人式を通した地元意識の醸成	186	成人式の出席率	→	%	実績 達成率	80.8 -	82.8 -	76.1 -	90.0	文化学習課	
4	子ども会への支援強化	186	子ども会育成連合会企画イベントの参加率	→	%	実績 達成率	16.5 -	18.2 -	15.6 -	50.0	文化学習課	
5						実績 達成率						
6						実績 達成率						
7						実績 達成率						
8						実績 達成率						
9						実績 達成率						
10						実績 達成率						
11						実績 達成率						
12						実績 達成率						
13						実績 達成率						
14						実績 達成率						
15						実績 達成率						
16						実績 達成率						
17						実績 達成率						
18						実績 達成率						
19						実績 達成率						
20						実績 達成率						

施策の分野	action3（教育）	基本施策名	生涯学習の推進	施策担当課	文化学習課
				関係課	
施策の目的	公民館の運営や各種講座の開催、図書館の整備と運営など生涯学習を推進するための体制を整備し、地域が一体となって生涯学習を推進できる仕組みづくりを進める。				

■ 施策のKPI

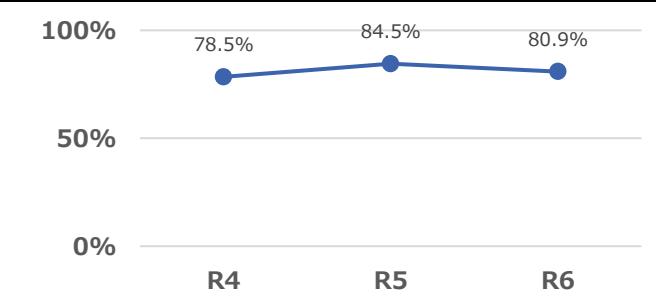
KPI	単位	R3	R4	R5	R6	R7	目標
公民館講座受講者数	人	41,118.0	45,298.0	49,194.0	52,506.0		55,000.0
生涯を通じた文化活動や学習の機会が充実していると考える市民の割合	%	34.7	33.5	36.6	30.3		45.0
図書館来館者数	人	54,020.0	54,995.0	57,991.0	55,949.0		70,000.0

■ KPIの推移に関する要因分析・評価、達成に向けて今後取り組む事項（施策担当課・関係課）

図書館においては、芦原図書館が、夏休み期間中に芦原図書館なつまつりや、湯のまち公民館とのコラボ企画としてスタンプラリーを行い、図書館の利用促進に努めた。また両館で、あわらの民話に関する講演会や子どものつどいを行い、市民があわらの民話に親しむ機会を設け、郷土愛の醸成に努めた。10月には図書館システムの更新を行い、HPやアプリでの利便性が向上した。長期休み期間中における学生の利用率の減少や、システム更新期間における休館などから来館者数が減少したため、今後は長期休み期間の学生に向けたイベントを増やし、充実させるなど、来館者数の増加に努める。

公民館においては、若い世代の利用が少ないことが課題のひとつであることから公民館活動について小中高校に対する周知と連携を強化し、児童生徒向けの講座を充実させることで利用促進を図っていく。

参考：事務事業の重点指標達成率の推移



■ 行政評価内部評価委員会の意見

(前年度)

引き続き、図書館の新規利用者獲得に向けて取り組まれたい。
公民館講座等についても、幅広い層が受講できるよう内容を工夫して開催されたい。

(今年度)

公民館に関して、コミュニティセンター化の方向性について、一度メリットとデメリットを整理して検討されたい。

■ 行政評価外部評価委員会の意見

(前年度)

行政評価内部評価委員会の意見はおおむね妥当と認める。

(今年度)

行政評価内部評価委員会の意見はおおむね妥当と認める。

■ 施策を構成する主な事務事業

No.	事務事業名	主要施策の成果 該当ページ数	事務事業の重点指標								所管課	備考
			指標名	方向	単位	R4	R5	R6	最終			
1	生涯学習推進体制・地区推進体制の整備	186~189	生涯を通じた文化活動や学習の機会が充実していると考える市民の割合	↑	%	実績 達成率	33.5 74.4%	36.6 81.3%	30.3 67.3%	45.0	文化学習課	
2	公民館講座、市民大学講座の開催	186,187, 190,191	各種講座の延受講者数	↑	人	実績 達成率	45,298.0 82.4%	49,194.0 89.4%	52,506.0 95.5%	55,000.0	文化学習課	
3	図書館機能の充実	192~194	来館者数（金津・芦原図書館）	↑	人	実績 達成率	54,995.0 78.6%	57,991.0 82.8%	55,949.0 79.9%	70,000.0	文化学習課	
4						実績 達成率						
5						実績 達成率						
6						実績 達成率						
7						実績 達成率						
8						実績 達成率						
9						実績 達成率						
10						実績 達成率						
11						実績 達成率						
12						実績 達成率						
13						実績 達成率						
14						実績 達成率						
15						実績 達成率						
16						実績 達成率						
17						実績 達成率						
18						実績 達成率						
19						実績 達成率						
20						実績 達成率						

令和7年度 施策評価シート（令和6年度実績）

施策番号

16

施策の分野	action3（教育）	基本施策名	生涯スポーツの推進	施策担当課	スポーツ課
施策の目的	スポーツ施設の充実や指導者の育成を進めるとともに、スポーツ協会、各支部競技団体などと連携しながら生涯にわたりスポーツを楽しむことができる仕組みづくりを進める。				

■ 施策のKPI

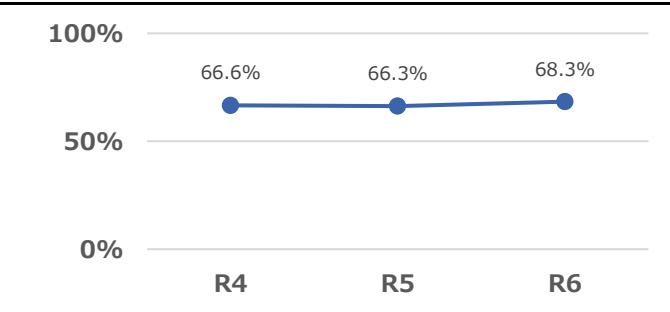
KPI	単位	R3	R4	R5	R6	R7	目標
手軽にスポーツに親しめる環境が整っていると考える市民の割合	%	37.4	36.6	39.2	32.9		50.0
ニュースポーツ参加者総数	人	358.0	435.0	696.0	936.0		1,200.0

■ KPIの推移に関する要因分析・評価、達成に向けて今後取り組む事項（施策担当課・関係課）

ニュースポーツ参加者総数が令和5年度は前年度比較で60%増、令和6年度は34%増となっており、コロナ禍前の令和元年度の936人と同数となり、日常生活に戻ったものと考えられる。内訳をみると、特にスポーツ推進委員派遣事業での人数の伸びが大きかったが、逆にニュースポーツチャレンジデーやニュースポーツ大会への参加者は減少傾向にあり、実施している種目のマンネリ化も考えられるため、取り組み方法の検討が必要と考えらえる。

スポーツ施設の利用にあたっては、令和6年度からネット上の施設予約や予約状況の確認が手軽にできるようになったことや、一部の施設を除き、支払いがPaypay対応が可能としたこともあり、施設全体の利用人数は、3000人弱増加している。しかしながら、手軽にスポーツに親しめる環境が整っていると考える市民の割合は低下しているため、引き続き、時代に見合った利便性の向上に取り組むことで、より良い環境づくりに励みたい。

参考：事務事業の重点指標達成率の推移



■ 行政評価内部評価委員会の意見

(前年度)

引き続き、体育施設の利用者数が増えるよう取り組まれたい。
また、カヌーなど市として重点的に推進していくスポーツの周知を強化されたい。

(今年度)

スポーツの種目を限定せずに、市民が何らかのスポーツに親しめるような環境づくりができると良い。
各施設の利用人数の推移を重視されたい。

■ 行政評価外部評価委員会の意見

(前年度)

行政評価内部評価委員会の意見はおおむね妥当と認める。

(今年度)

行政評価内部評価委員会の意見はおおむね妥当と認める。

■ 施策を構成する主な事務事業

No.	事務事業名	主要施策の成果 該当ページ数	事務事業の重点指標								所管課	備考
			指標名	方向	単位	実績	R4	R5	R6	最終		
1	スポーツ協会との連携・支援	205	市民スポレク祭（市民スポーツ大会）参加人数	↑	人	実績 達成率	439.0 53.5%	398.0 48.5%	343.0 41.8%	820.0	スポーツ課	
2	スポーツ団体の育成・支援		支部主催事業及び競技団体主催事業参加者数割合	↑	%	実績 達成率	25.0 62.5%	25.9 64.8%	33.8 84.5%	40.0		
3	指導者の育成とスポーツ活動の安全確保	205	スポーツ少年団認定指導員有資格者割合	↑	%	実績 達成率	92.7 92.7%	97.3 97.3%	92.2 92.2%	100.0	スポーツ課	
4	体育施設の充実と効率的な活用		体育施設利用者数	↑	人	実績 達成率	122,085.0 61.0%	144,933.0 72.5%	153,474.0 76.7%	200,000.0		
5	地域資源を活用したスポーツ事業	203,204	カヌーのイベント・体験会の参加者数	↑	人	実績 達成率	337.0 67.4%	325.0 65.0%	274.0 54.8%	500.0	スポーツ課	
6	カヌー競技の普及と交流人口の拡大	203,204	あわらカップカヌーポロ大会市民参加チーム	↑	チーム	実績 達成率	33.0 66.0%	34.0 68.0%	37.0 74.0%	50.0	スポーツ課	
7	トップレベルのスポーツイベントの開催	—	トップレベルのスポーツイベントの開催数	↑	回	実績 達成率	4.0 100.0%	3.0 75.0%	3.0 75.0%	4.0	スポーツ課	
8	スポーツ情報の発信	—	インスタグラムフォロワー数	↑	人	実績 達成率	296.0 29.6%	392.0 39.2%	477.0 47.7%	1,000.0	スポーツ課	
9						実績 達成率						
10						実績 達成率						
11						実績 達成率						
12						実績 達成率						
13						実績 達成率						
14						実績 達成率						
15						実績 達成率						
16						実績 達成率						
17						実績 達成率						
18						実績 達成率						
19						実績 達成率						
20						実績 達成率						

施策の分野	action3（教育）	基本施策名	文化と芸術の振興	施策担当課	文化学習課
				関係課	
施策の目的	市内の文化財の調査・研究を進め、その保全と継承に努めるとともに、文化活動団体の育成・支援を通して伝統文化や芸能の振興を図る。また、金津創作の森を拠点とした芸術の振興・発展に努める。				

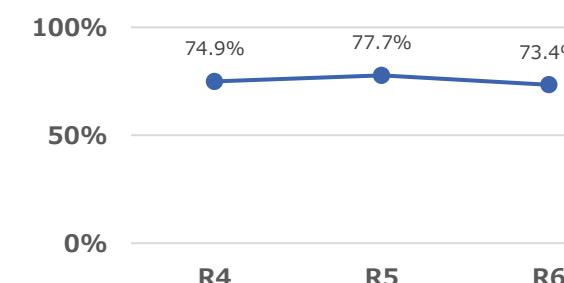
■ 施策のKPI

KPI	単位	R3	R4	R5	R6	R7	目標
郷土歴史資料館入場者数	人	3,329.0	4,363.0	4,412.0	4,519.0		7,000.0
金津創作の森美術館入場者数	人	70,816.0	109,408.0	121,272.0	111,476.0		150,000.0

■ KPIの推移に関する要因分析・評価、達成に向けて今後取り組む事項（施策担当課・関係課）

昨年度から着手した市文化財保存活用地域計画は、令和7年12月の文化庁認定に向けて2年目の作業を進めた。文化財は市内の未指定文化財の調査を進め、親鸞聖人像が市有形文化財（絵画）に指定となったため、1件増となつた。郷土歴史資料館の入場者は昨年度と比べ微増に留まつた。特別展の狛犬展はこれまでの有料展示で最も盛況となつたが、その他の展示は集客が伸びなかつた。しかし、縄文ピアス専用展示場の新設、常設展示のリニューアルを実施し、魅力度向上を図つている。金津創作の森の来館者総数は9%減となつた。主な要因として、ミュージアムショップ来場者の減（令和5年度は原田治展により例年を大幅に上回る来場があつた）が上げられる。美術館来館数は、企画展の内容に左右するものの、令和7年度のはじもとみお彫刻展をはじめ、以降も需要が見込まれる企画展を計画しており、工房体験に関しても観光事業者との連携が奏功し、直近では増加している。今後は、野外、カフェレストラン、企画展開催期間外の魅力づくりなど新たな視点で取り組んでいく。

参考：事務事業の重点指標達成率の推移



■ 行政評価内部評価委員会の意見

(前年度)

郷土歴史資料館や創作の森について、引き続き来場者数を伸ばせるよう取り組まれたい。
来場者が観賞だけでなく、体験もできるよう検討されたい。

(今年度)

縄文ピアスといった本市の文化財の魅力をPRできると良い。
創作の森美術館については、観覧や体験以外の機能を持たせられるよう検討されたい。

■ 行政評価外部評価委員会の意見

(前年度)

行政評価内部評価委員会の意見はおおむね妥当と認める。

(今年度)

行政評価内部評価委員会の意見はおおむね妥当と認める。

■ 施策を構成する主な事務事業

No.	事務事業名	主要施策の成果 該当ページ数	事務事業の重点指標								所管課	備考
			指標名	方向	単位	R4	R5	R6	最終			
1	文化財保存活用計画の策定と推進	197	市文化財保存活用地域計画策定	↑	%	実績 達成率	15.0 15.0%	33.0 33.0%	66.0 66.0%	100.0	文化学習課	
2	文化財の調査と保護・活用	196	指定（登録）文化財件数	↑	件	実績 達成率	80.0 106.7%	77.0 102.7%	78.0 104.0%	75.0	文化学習課	
3	郷土歴史資料館の管理運営	195	郷土歴史資料館の入場者数	↑	人	実績 達成率	4,363.0 62.3%	4,412.0 63.0%	4,519.0 64.6%	7,000.0	文化学習課	
4	文化振興事業の開催	189	来場者数	↑	人	実績 達成率	2,246.0 149.7%	2,277.0 151.8%	1,323.0 88.2%	1,500.0	文化学習課	
5	文化活動団体の育成・支援	189	文化協議会加入者数	↑	人	実績 達成率	403.0 80.6%	388.0 77.6%	377.0 75.4%	500.0	文化学習課	
6	伝統文化の継承と情報発信	195	郷土歴史資料館の入館者数	↑	人	実績 達成率	4,363.0 62.3%	4,412.0 63.0%	4,519.0 64.6%	7,000.0	文化学習課	
7	祭りや伝統的な風習の維持・継承	—	有形・無形民俗文化財、無形文化財の指定件数	↑	件	実績 達成率	2.0 50.0%	2.0 50.0%	2.0 50.0%	4.0	文化学習課	
8	金津創作の森の管理運営	198～202	施設利用者数	↑	人	実績 達成率	109,408.0 72.9%	121,272.0 80.8%	111,476.0 74.3%	150,000.0	文化学習課	
9						実績 達成率						
10						実績 達成率						
11						実績 達成率						
12						実績 達成率						
13						実績 達成率						
14						実績 達成率						
15						実績 達成率						
16						実績 達成率						
17						実績 達成率						
18						実績 達成率						
19						実績 達成率						
20						実績 達成率						

令和7年度 施策評価シート（令和6年度実績）

施策番号

18

施策の分野	action4（都市）	基本施策名	土地利用の適正化	施策担当課	建設課
				関係課	農林水産課
施策の目的	土地の用途に応じた計画的な土地利用を推進し、少子高齢化に対応した住環境づくりや商業の活性化、歴史や文化を生かしたまちづくりを進める。				

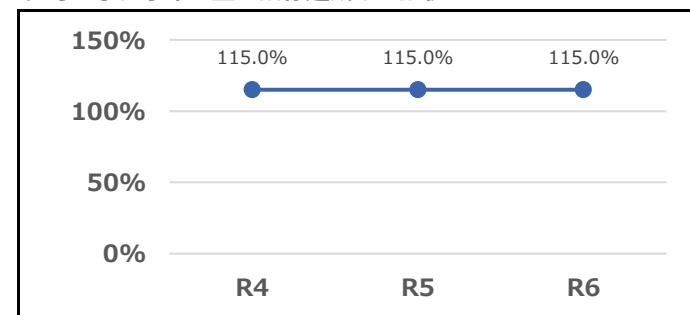
■施策のKPI

KPI	単位	R3	R4	R5	R6	R7	目標

■KPIの推移に関する要因分析・評価、達成に向けて今後取り組む事項（施策担当課・関係課）

地域の自然、社会、経済的特性に配慮しつつ、市街地の整備と農地の保全等を図るための適正な土地利用を図る。また、令和8年の都市計画マスタープラン改定に向け、策定委員会を2回開催した。今後も、全体構想の策定や都市づくりの目標設定を計画的に進めていく。

参考：事務事業の重点指標達成率の推移



■行政評価内部評価委員会の意見

(前年度)

次期都市計画マスタープランの改定に向け、作業を着実に進められたい。

(今年度)

引き続き、都市計画マスタープランの改定について、着実に取り組まれたい。

■行政評価外部評価委員会の意見

(前年度)

行政評価内部評価委員会の意見はおおむね妥当と認める。

(今年度)

市内における土地に関して、空き地や跡地利用まで考えて長期の目線で施策に取り組まれたい。

■ 施策を構成する主な事務事業

No.	事務事業名	主要施策の成果 該当ページ数	事務事業の重点指標								所管課	備考
			指標名	方向	単位	実績	R4	R5	R6	最終		
1	計画的な土地利用の推進	—	用途地域の変更	→	%	実績 達成率	0.0 -	0.0 -	0.0 -	8.0	建設課	
2	農業振興整備計画の推進	—	農用地面積	→	ha	実績 達成率	3,529.7 -	3,518.2 -	3,517.1 -	3,542.0		農林水産課
3	地籍調査の推進	134	地籍調査実施済面積	↑	km ²	実績 達成率	6.9 115.0%	6.9 115.0%	6.9 115.0%	6.0	農林水産課	
4						実績 達成率						
5						実績 達成率						
6						実績 達成率						
7						実績 達成率						
8						実績 達成率						
9						実績 達成率						
10						実績 達成率						
11						実績 達成率						
12						実績 達成率						
13						実績 達成率						
14						実績 達成率						
15						実績 達成率						
16						実績 達成率						
17						実績 達成率						
18						実績 達成率						
19						実績 達成率						
20						実績 達成率						

令和7年度 施策評価シート（令和6年度実績）

施策番号

19

施策の分野	action4（都市）	基本施策名	道路交通網の整備	施策担当課	建設課
				関係課	政策広報課
施策の目的	国道や県道、市道などの種別又は特性に応じた道路の整備を進めながら、快適で機能的な交通ネットワークの構築を推進する。				

■施策のKPI

KPI	単位	R3	R4	R5	R6	R7	目標
道路が効率的・効果的に整備されていると考えている市民の割合	%	38.1	38.3	33.1	34.5		50.0
都市計画道路の整備率	%	56.9	56.9	57.5	58.0		62.0

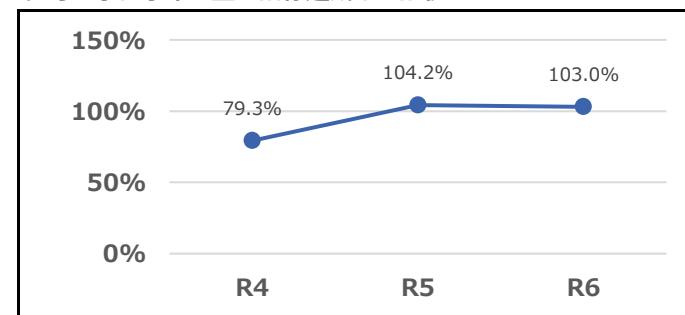
■KPIの推移に関する要因分析・評価、達成に向けて今後取り組む事項（施策担当課・関係課）

国道8号福井バイパスは、平成30年に暫定2車線で供用された。引き続き、用地取得済の4車線の整備に向け、国に対し早期完成の要望を行う。

令和4年度から開始された国道8号金津道路（牛ノ谷～笠岡）、牛ノ谷道路（石川県加賀市熊坂町～牛ノ谷）の公共用地先行取得事業の進捗を図るほか、国に対して早期着工に向けて引き続き要望を行う。

また、都市計画道路南中央線及び県道水口牛ノ谷線については、県に対して早期完成に向けて引き続き要望を行う。

参考：事務事業の重点指標達成率の推移



■行政評価内部評価委員会の意見

(前年度)

消雪設備について、必要な場所を検討の上、今後も継続して整備されたい。

(今年度)

道路や橋梁について、長期的な目線で整備計画を検討されたい。

■行政評価外部評価委員会の意見

(前年度)

行政評価内部評価委員会の意見はおおむね妥当と認める。

(今年度)

行政評価内部評価委員会の意見はおおむね妥当と認める。

■ 施策を構成する主な事務事業

No.	事務事業名	主要施策の成果 該当ページ数	事務事業の重点指標								所管課	備考
			指標名	方向	単位	R4	R5	R6	最終			
1	国道の整備促進	—	国道8号福井バイパスの進捗率	↑	%	実績 達成率	100.0 100.0%	100.0 100.0%	100.0 100.0%	100.0	建設課	
2	県道の整備促進	—	県管理道路の改良率	↑	%	実績 達成率	93.1 98.0%	93.1 98.0%	93.1 98.0%	95.0	建設課	
3	市道・橋りょうの改良	—	市道の改良率	↑	%	実績 達成率	88.5 98.3%	88.5 98.3%	88.6 98.4%	90.0	建設課	
4	雪に強い道づくり	—	消雪設備の整備済延長	↑	m	実績 達成率	8,900.0 100.0%	9,726.0 109.3%	9,891.0 111.1%	8,900.0	建設課	
5	道の駅の整備と運営	53,54	「蓮如の里あわら」年間利用者数	↑	人／年	実績 達成率	0.0 0.0%	415,558.0 115.4%	387,475.0 107.6%	360,000.0	政策広報課、建設課	
6						実績 達成率						
7						実績 達成率						
8						実績 達成率						
9						実績 達成率						
10						実績 達成率						
11						実績 達成率						
12						実績 達成率						
13						実績 達成率						
14						実績 達成率						
15						実績 達成率						
16						実績 達成率						
17						実績 達成率						
18						実績 達成率						
19						実績 達成率						
20						実績 達成率						

令和7年度 施策評価シート（令和6年度実績）

施策番号

20

施策の分野	action4（都市）	基本施策名	新幹線開業に向けたまちづくり	施策担当課	建設課
				関係課	政策広報課、生活環境課、商工労働課、観光振興課
施策の目的	着工が認可された北陸新幹線金沢－敦賀間の事業促進に努めるとともに、2024年春の開業に向けた駅周辺整備など、ハード・ソフト両面における取り組みを進める。また、並行在来線の取り扱いについても、市の財政負担が過大とならない運営方法等を検討する。				

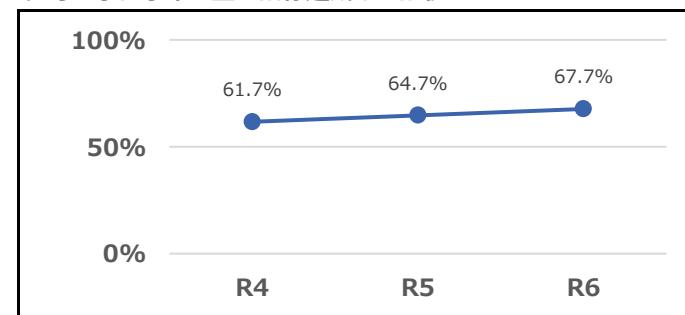
■施策のKPI

KPI	単位	R3	R4	R5	R6	R7	目標

■KPIの推移に関する要因分析・評価、達成に向けて今後取り組む事項（施策担当課・関係課）

JR芦原温泉駅周辺整備の事業は、令和6年3月16日の北陸新幹線（金沢・敦賀間）の開業前に施設整備が完了した。今後は、JR芦原温泉駅周辺地区において、竹田川や、公園、道路の既存資源を活かし地域住民をはじめ駅利用者や来訪者まで、誰もが、日常的に集い、散策を楽しめる魅力的な拠点と回遊軸の整備を進めていく。北陸新幹線金沢開業に合わせて整備した金津本陣にぎわい広場については、民間事業者から提案を求めて有効活用を図る。令和6年度に民間提案を募集した結果、応募はあったものの、民間事業者からの提案は商圏規模が小さい等の理由で市の支援（補助金等）を希望する内容であり、採用には至らなかった。令和7年度は、具体的な市の支援内容を提示し再度募集を行う。駅周辺エリアにおける新規出店件数は最終目標を達成しているが、金融機関や不動産業者と連携し、補助制度の周知を図るとともに、空き店舗情報バンクの充実を進め、空き店舗の解消に向けて取り組んでいく。

参考：事務事業の重点指標達成率の推移



■行政評価内部評価委員会の意見

(前年度)

駅周辺整備について、周遊施設含めて再度検討し、引き続き魅力向上に取り組まれたい。

(今年度)

芦原温泉駅周辺だけでなく、あわら湯のまち駅周辺も含めて、今後は考えていく必要がある。

■行政評価外部評価委員会の意見

(前年度)

北陸新幹線について、芦原温泉駅での利用者が増えるような施策を検討されたい。

(今年度)

新幹線の利用推進について、近隣自治体を含めて乗降客数の確保のために、しっかりとPRに努められたい。

■ 施策を構成する主な事務事業

No.	事務事業名	主要施策の成果 該当ページ数	事務事業の重点指標								所管課	備考
			指標名	方向	単位	R4	R5	R6	最終			
1	北陸新幹線の整備促進	168,169	北陸新幹線整備関連事業	↑	%	実績 達成率	85.6 85.6%	100.0 100.0%	100.0 100.0%	100.0	建設課	
2	芦原温泉駅周辺の整備	168,169	事業進捗率	↑	%	実績 達成率	96.4 96.4%	100.0 100.0%	100.0 100.0%	100.0		
3	並行在来線への対応	73	沿線市町調整会議の開催回数	↑	回	実績 達成率	3.0 30.0%	2.0 20.0%	2.0 20.0%	10.0	生活環境課	
4	新幹線開業後のまちづくり	–	本市の魅力度ランキング	↓	位	実績 達成率	415.0 48.2%	386.0 51.8%	338.0 59.2%	200.0		政策広報課、商工労働課、観光振興課
5	駅周辺の新たな活性化策の検討	–	本市の魅力度ランキング	↓	位	実績 達成率	415.0 48.2%	386.0 51.8%	338.0 59.2%	200.0	商工労働課、観光振興課	
6						実績 達成率						
7						実績 達成率						
8						実績 達成率						
9						実績 達成率						
10						実績 達成率						
11						実績 達成率						
12						実績 達成率						
13						実績 達成率						
14						実績 達成率						
15						実績 達成率						
16						実績 達成率						
17						実績 達成率						
18						実績 達成率						
19						実績 達成率						
20						実績 達成率						

令和7年度 施策評価シート（令和6年度実績）

施策番号

21

施策の分野	action4（都市）	基本施策名	機能的なまちの整備と景観への配慮	施策担当課	建設課
				関係課	生活環境課
施策の目的	公園や住環境など、機能的な都市環境の整備と維持に努めるとともに、景観に配慮したまちづくりを進める。また、乗合タクシーの運行、公共交通機関の運行支援を通して、総合的な交通体系の構築に努める。				

■施策のKPI

KPI	単位	R3	R4	R5	R6	R7	目標
公共交通機関が効果的に運行されていると考える市民の割合	%	24.2	25.6	24.6	20.0		30.0
景観に配慮したまち並み整備が行われていると考える市民の割合	%	24.9	30.1	24.6	26.1		30.0

■KPIの推移に関する要因分析・評価、達成に向けて今後取り組む事項（施策担当課・関係課）

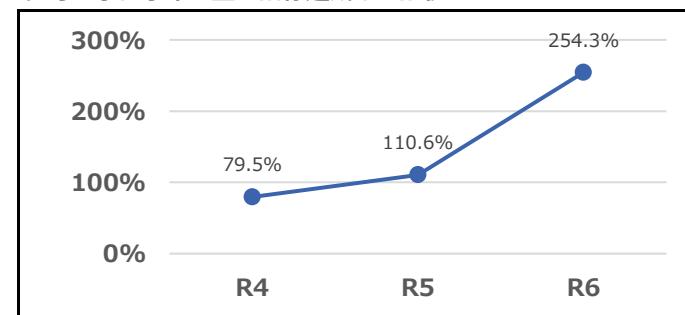
地域ごとの特色を活かし、地域住民が愛着を感じることができるまちなみとするためには、景観に関する地域住民の更なる意識の向上（景観協議会）と、行政による適切な誘導（違反広告物簡易除却、景観まちづくり推進事業補助金）が必要である。

平成28年の福井県屋外広告物条例の改正に伴い、設置基準に不適合な広告物に関しては、更新時に広告物の変更改造を行う際には、新基準に適合するよう改善を求めていく。

今後も景観行政団体として、市民や事業者とともに良好な景観創出のためのルールづくりの誘導・支援を行っていく。

また、乗合タクシーの運行について、予約電話の混雑解消や若年層の利用促進に向け、Web予約システムを構築した。今後は、既存公共交通機関とのバランスを考慮しながら、近隣市町と広域連携を検討していく。

参考：事務事業の重点指標達成率の推移



■行政評価内部評価委員会の意見

(前年度)

まちづくりの景観に関して、観光ビジョンの考えに基づき、残す部分となくす部分を計画的に進められたい。
主要道路を中心にガードレールなどの付属施設を更新し、より良い景観となるよう検討されたい。

(今年度)

施設の案内など標識について、しっかりとした整備を検討されたい。

■行政評価外部評価委員会の意見

(前年度)

行政評価内部評価委員会の意見はおおむね妥当と認める。

(今年度)

行政評価内部評価委員会の意見はおおむね妥当と認める。

■ 施策を構成する主な事務事業

No.	事務事業名	主要施策の成果 該当ページ数	事務事業の重点指標								所管課	備考
			指標名	方向	単位	実績	R4	R5	R6	最終		
1	都市公園・緑地の良好な管理	170,171	管理団体による維持管理作業	→	回	実績 達成率	19.0 -	20.0 -	20.0 -	19.0 -	建設課	
2	市営住宅の適正な管理	173	長寿命化整備率	↑	%	実績 達成率	100.0 100.0%	100.0 100.0%	100.0 100.0%	100.0 -	建設課	
3	快適な住環境の整備推進	171,172	木造住宅耐震診断実施件数	↑	件	実績 達成率	3.0 75.0%	7.0 175.0%	58.0 1450.0%	4.0 -	建設課	
4	市営駐車場の整備と管理運営	75	駐車場利用台数（時間制）	↑	台	実績 達成率	80,233.0 111.4%	126,698.0 176.0%	144,602.0 200.8%	72,000.0 -	生活環境課	
5	西口立体駐車場の管理運営	75	駐車場利用台数	↑	台	実績 達成率	49,100.0 81.8%	85,098.0 141.8%	79,558.0 132.6%	60,000.0 -	生活環境課	
6	市営駐輪場の整備と管理運営	73	放置自転車撤去台数	↓	台	実績 達成率	24.0 125.0%	20.0 150.0%	5.0 600.0%	30.0 -	生活環境課	
7	景観計画の推進	—	景観に配慮したまち並み整備が行われていると考える市民の割合	↑	%	実績 達成率	30.1 100.3%	24.6 82.0%	26.1 87.0%	30.0 -	建設課	
8	美しい景観づくりのための規制と誘導	—	違反広告物簡易除却	↑	件	実績 達成率	0.0 0.0%	0.0 0.0%	0.0 0.0%	2.0 -	建設課	
9	市民・事業者との連携による景観活動の推進	—	景観まちづくり協議会運営	↑	回	実績 達成率	2.0 100.0%	3.0 150.0%	2.0 100.0%	2.0 -	建設課	
10	デマンド方式による公共交通の運行	72	乗合タクシーの登録者数	↑	人	実績 達成率	288.0 96.0%	382.0 127.3%	268.0 89.3%	300.0 -	生活環境課	
11	公共交通の利用促進	73	えちぜん鉄道あわら湯のまち駅、本荘駅、番田駅の乗車数	↑	人	実績 達成率	108,934.0 114.7%	112,214.0 118.1%	119,235.0 125.5%	95,000.0 -	生活環境課	
12	広域公共交通ネットワークの形成	—	ふくいMaaS協議会の開催回数	↑	回	実績 達成率	3.0 50.0%	4.0 66.7%	4.0 66.7%	6.0 -	生活環境課	
13	自転車活用推進計画の推進	—	自転車の駅	↑	か所	実績 達成率	0.0 0.0%	2.0 40.0%	5.0 100.0%	5.0 -	生活環境課	
14						実績 達成率						
15						実績 達成率						
16						実績 達成率						
17						実績 達成率						
18						実績 達成率						
19						実績 達成率						
20						実績 達成率						

令和7年度 施策評価シート（令和6年度実績）

施策番号

22

施策の分野	action4（都市）	基本施策名	上水道事業の運営	施策担当課	上下水道課
				関係課	
施策の目的	水源地や配水池、給水施設の適正な維持管理に努め、安全でおいしい水の供給と事業の安定経営に努める。				

■施策のKPI

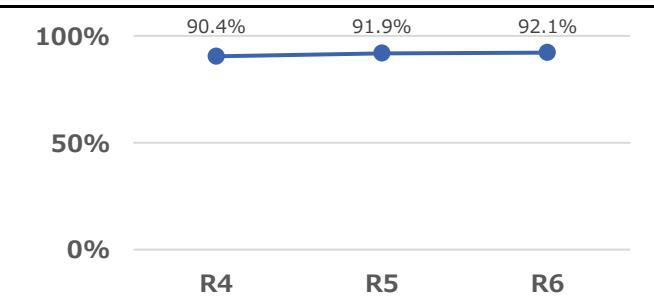
KPI	単位	R3	R4	R5	R6	R7	目標
安全でおいしい水が供給されていると考える市民の割合	%	81.2	80.8	81.5	80.2		85.0

■KPIの推移に関する要因分析・評価、達成に向けて今後取り組む事項（施策担当課・関係課）

アンケートを回答した人の水のおいしさの感じ方や社会情勢等に左右される。今後も法に定められた水質基準を遵守しつつ、安心・安全な水の供給に取り組む。

また、水道施設については、昨年度策定した耐震化計画に基づき耐震化を進めるとともに、老朽化した水道施設の更新を計画的に実施する。

参考：事務事業の重点指標達成率の推移



■行政評価内部評価委員会の意見

(前年度)

引き続き、包括民営化に向けて取り組むとともに、水道施設等の耐震化について検討されたい。

(今年度)

包括民営化の開始に伴い、管路整備などに集中して取り組まれたい。

■行政評価外部評価委員会の意見

(前年度)

行政評価内部評価委員会の意見はおおむね妥当と認める。

(今年度)

行政評価内部評価委員会の意見はおおむね妥当と認める。

■ 施策を構成する主な事務事業

No.	事務事業名	主要施策の成果 該当ページ数	事務事業の重点指標								所管課	備考
			指標名	方向	単位	R4	R5	R6	最終			
1	水道施設の維持管理と運営	225	給水原価	↓	円	実績 達成率	208.4 88.2%	205.6 89.4%	206.3 89.1%	183.8	上下水道課	
2	水道施設の計画的な更新	225	有収率	↑	%	実績 達成率	78.6 87.3%	79.7 88.6%	82.3 91.4%	90.0	上下水道課	
3	水道事業会計の健全化	226	営業収支比率	↑	%	実績 達成率	81.4 95.8%	83.0 97.6%	81.5 95.9%	85.0	上下水道課	
4						実績 達成率						
5						実績 達成率						
6						実績 達成率						
7						実績 達成率						
8						実績 達成率						
9						実績 達成率						
10						実績 達成率						
11						実績 達成率						
12						実績 達成率						
13						実績 達成率						
14						実績 達成率						
15						実績 達成率						
16						実績 達成率						
17						実績 達成率						
18						実績 達成率						
19						実績 達成率						
20						実績 達成率						

令和7年度 施策評価シート（令和6年度実績）

施策番号

23

施策の分野	action4（都市）	基本施策名	下水道事業の運営	施策担当課	上下水道課
				関係課	
施策の目的	計画的な公共下水道事業の推進と汚水処理施設の維持管理を図るとともに、受益者負担金や使用料の適正徴収による安定的な事業運営に努める。				

■施策のKPI

KPI	単位	R3	R4	R5	R6	R7	目標
計画区域内公共下水道接続率	%	94.2	94.6	94.9	95.1		95.0
下水道使用料収納率	%	99.7	99.4	99.5	99.7		100.0

■KPIの推移に関する要因分析・評価、達成に向けて今後取り組む事項（施策担当課・関係課）

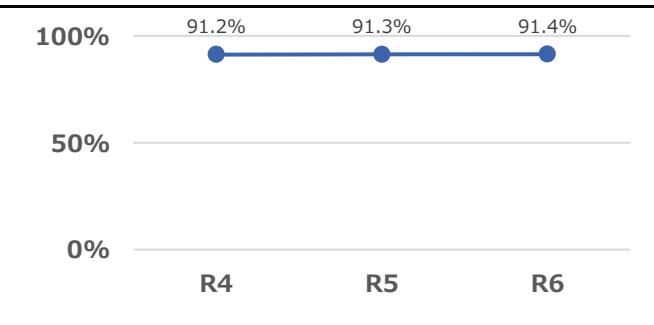
下水道接続率については、未接続世帯への接続啓発活動とともに、住宅等の新築、改築工事もあり、順調に下水道への接続が進んだ。引き続き、瓜生地区を新規供用開始することから、対象世帯に対し、早期に接続するよう啓発活動を行う。

なお、未整備区域における下水道整備は、今後の人口動態や土地利用方針を踏まえた選択と集中が求められることから、新たな下水道整備は原則として抑制し、代替手法も含めて慎重に対応するものとする。

また、下水道施設等の耐震化について、ストックマネジメント計画に伴う下水道管路の点検調査結果を踏まえて、優先順位をつけ、更新を行う中で耐震化を進めていく。

下水道使用料収納率については、個別訪問や徴収員の派遣により接触機会を増やすと共に、収入状況を調査した上で分納誓約を交わす等により収納率が向上となった。今後も引き続き、滞納処分の積極的な実施や接触頻度を増やし、未納額を減少させていく。

参考：事務事業の重点指標達成率の推移



■行政評価内部評価委員会の意見

(前年度)

引き続き、下水道接続率の向上に取り組むとともに、下水道施設等の耐震化について検討されたい。

(今年度)

下水道施設については、着実な調査点検を進めるとともに、長寿命化について取り組まれたい。

■行政評価外部評価委員会の意見

(前年度)

行政評価内部評価委員会の意見はおおむね妥当と認める。

(今年度)

下水道に係る老朽管について、適切な点検と維持管理に努められたい。

■ 施策を構成する主な事務事業

No.	事務事業名	主要施策の成果 該当ページ数	事務事業の重点指標								所管課	備考
			指標名	方向	単位	R4	R5	R6	最終			
1	公共下水道の維持管理と運営	228	下水道接続率	↑	%	実績 達成率	94.6 99.6%	94.9 99.9%	95.1 100.1%	95.0	上下水道課	
2	下水道の整備促進	228	下水道整備率	↑	%	実績 達成率	83.5 97.1%	83.5 97.1%	83.5 97.1%	86.0	上下水道課	
3	浸水被害の軽減	228	雨水渠整備率	↑	%	実績 達成率	23.1 77.0%	23.1 77.0%	23.1 77.0%	30.0	上下水道課	
4	浄化槽の整備促進	175	合併処理浄化槽設置事業補助金利用件数	→	件	実績 達成率	0.0 -	1.0 -	2.0 -	3.0	上下水道課	
5						実績 達成率						
6						実績 達成率						
7						実績 達成率						
8						実績 達成率						
9						実績 達成率						
10						実績 達成率						
11						実績 達成率						
12						実績 達成率						
13						実績 達成率						
14						実績 達成率						
15						実績 達成率						
16						実績 達成率						
17						実績 達成率						
18						実績 達成率						
19						実績 達成率						
20						実績 達成率						

施策の分野	action5（経済産業）	基本施策名	観光の振興	施策担当課	観光振興課
				関係課	
施策の目的	市民や事業者、関係団体、市などが連携して、広域観光や着地型観光、人材育成、情報発信などに取り組み、あわら市の基幹産業の一つである観光の振興を図る。				

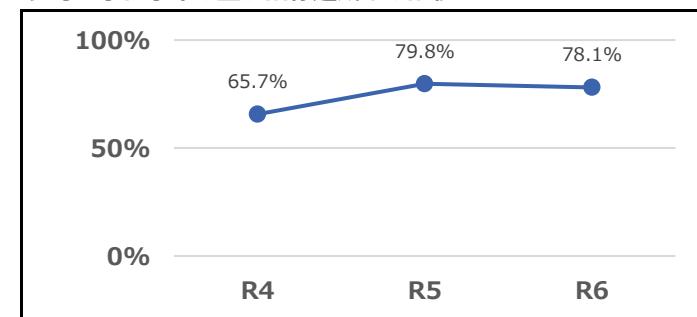
■ 施策のKPI

KPI	単位	R3	R4	R5	R6	R7	目標
観光入込客数	人	1,090,300.0	1,308,700.0	1,868,900.0	2,129,600.0		2,200,000.0
宿泊観光客数	人	387,000.0	501,300.0	615,800.0	681,100.0		1,000,000.0
外国人宿泊客数	人	9.0	736.0	11,278.0	9,195.0		50,000.0
観光地としての魅力があると考える市民の割合	%	31.2	28.4	31.3	40.2		40.0

■ KPIの推移に関する要因分析・評価、達成に向けて今後取り組む事項（施策担当課・関係課）

観光入込客数は、道の駅蓮如の里あわらが新たに観光スポットに加わったほか、コロナ禍以降、市内でのイベント実施も増えたことから、市全体でも順調に増加してきている。また、北陸新幹線芦原温泉駅開業に伴い、宿泊客数は関東地方を中心に増加してきているが、コロナ禍に、旅行形態が個人旅行の傾向に変化したため、当初の目標からすると、達成率は低くなっている。コロナ禍以降、インバウンドの団体旅行も減っているため、外国人宿泊者数も伸び悩んでいる状況である。今後は、観光消費額の増加や滞在性・回遊性向上によるリピーターを増加させるため、まずは、温泉街について、市民も日常的に滞在したくなるような環境と、観光客も回遊を楽しめるようなエリアを目指し、地域の人にも観光客にも魅力的な空間とそれらを継続させていくための仕組みづくりを行っていく。令和7年度については、「あわら市観光まちづくりビジョン」において、あわら温泉湯のまち広場を中心とした回遊促進の社会実験を実施し、令和8年度以降のまち歩き拠点の整備に向け着実に推進していく。新幹線開業は地域振興の「スタート」であり、これを契機に、県や周辺自治体との連携をさらに強化し、多様な観光資源の発信や新たな交流機会の創出を通じて、持続可能な観光振興を強力に進めていく。

参考：事務事業の重点指標達成率の推移



■ 行政評価内部評価委員会の意見

(前年度)

観光まちづくりビジョンが策定されたので、それに基づいた観光施策に取り組まれたい。
観賞だけでなく観光客の体験も重視しながら、インバウンド等の各観光施策に取り組まれたい。

(今年度)

温泉だけでなく、市全体さらには他の市町とも連携して広域的に観光を進めていく必要がある。
嶺北北部の広域的な観光の在り方、さらにはインバウンド対策について検討できる体制構築に取り組まれたい。

■ 行政評価外部評価委員会の意見

(前年度)

市民全体で観光客を迎えるといった機運醸成を図ることができるような施策を検討されたい。

(今年度)

行政評価内部評価委員会の意見はおおむね妥当と認める。

■ 施策を構成する主な事務事業

No.	事務事業名	主要施策の成果 該当ページ数	事務事業の重点指標								所管課	備考
			指標名	方向	単位	R4	R5	R6	最終			
1	国際的な観光まちづくりの推進	152	観光入込客数	↑	人	実績 達成率	1,308,700.0 59.5%	1,868,900.0 85.0%	2,129,600.0 96.8%	2,200,000.0	観光振興課	
2	あわら温泉と観光資源の磨き上げ	152	観光入込客数	↑	人	実績 達成率	1,308,700.0 59.5%	1,868,900.0 85.0%	2,129,600.0 96.8%	2,200,000.0	観光振興課	
3	観光まちづくりを担う人材の育成	152	観光入込客数	↑	人	実績 達成率	1,308,700.0 59.5%	1,868,900.0 85.0%	2,129,600.0 96.8%	2,200,000.0	観光振興課	
4	ポストコロナを見据えた観光の推進	159	観光庁事業の参加事業者数	↑	事業者	実績 達成率	31.0 124.0%	33.0 132.0%	9.0 36.0%	25.0	観光振興課	令和5年度と併せて2カ年で申請。 令和6年度で終了
5	着地型観光・滞在型観光の推進	152	あわら温泉宿泊観光客数	↑	人	実績 達成率	501,300.0 50.1%	561,900.0 56.2%	623,400.0 62.3%	1,000,000.0	観光振興課	
6	戦略的な情報発信	151	あわらファンクラブ登録者数	↑	人	実績 達成率	3,143.0 78.6%	4,020.0 100.5%	4,631.0 115.8%	4,000.0	観光振興課	
7	インバウンド誘客の推進	154,155	外国人の宿泊者数	↑	人	実績 達成率	736.0 1.5%	11,278.0 22.6%	9,195.0 18.4%	50,000.0	観光振興課	
8	観光事業者等との連携強化	－	体験プログラムの実施事業者数	↑	団体	実績 達成率	44.0 110.0%	35.0 87.5%	35.0 87.5%	40.0	観光振興課	
9	広域観光の推進	151	観光入込客数	↑	人	実績 達成率	1,308,700.0 59.5%	1,868,900.0 85.0%	2,129,600.0 96.8%	2,200,000.0	観光振興課	
10	地域資源の活用	－	泉井稼働率	↑	本	実績 達成率	45.0 60.8%	40.0 54.1%	41.0 55.4%	74.0	観光振興課	
11	観光施設等の整備と管理	151	観光入込客数	↑	人	実績 達成率	1,308,700.0 59.5%	1,868,900.0 85.0%	2,129,600.0 96.8%	2,200,000.0	観光振興課	
12						実績 達成率						
13						実績 達成率						
14						実績 達成率						
15						実績 達成率						
16						実績 達成率						
17						実績 達成率						
18						実績 達成率						
19						実績 達成率						
20						実績 達成率						

令和7年度 施策評価シート（令和6年度実績）

施策番号

25

施策の分野	action5（経済産業）	基本施策名	農業の振興	施策担当課	農林水産課
				関係課	
施策の目的	市の基幹産業の一つである農業について、担い手育成や遊休地対策、近代化への支援などの経営基盤の強化を図るとともに、生産基盤の整備と充実に努め、その振興を図る。				

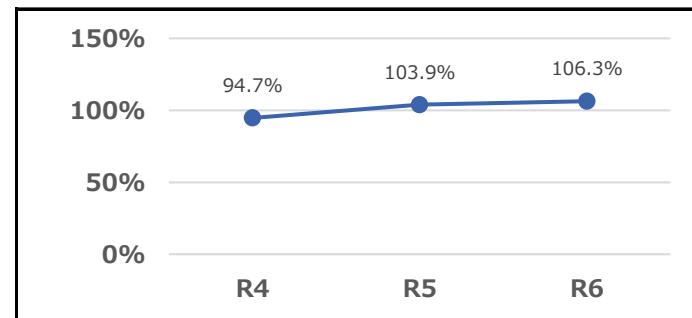
■施策のKPI

KPI	単位	R3	R4	R5	R6	R7	目標
坂井北部丘陵地の耕作率	%	54.5	57.8	74.4	74.3		73.0
学校給食における地元食材の使用率	%	57.0	62.2	57.5	57.9		70.0
新規就農者数（市の認定による）※令和3年度からの累計	人	2.0	7.0	14.0	15.0		15.0
担い手の農地集積率	%	73.1	74.6	77.2	77.8		76.0

■KPIの推移に関する要因分析・評価、達成に向けて今後取り組む事項（施策担当課・関係課）

坂井北部丘陵地の耕作、担い手の農地集積は安定しているものの、耕作者は足りておらず、以前として農業者の高齢化や担い手の不足は深刻化している。福井園芸カレッジや県農林総合事務所、JA福井県、関連団体などと情報を共有しながら、また既存の地域農業者からも協力を得て、地域の新規の就農者の確保、農業者の育成に取り組んでいく。

参考：事務事業の重点指標達成率の推移



■行政評価内部評価委員会の意見

(前年度)

農業従事者について後継者不足に悩まされる中で、どのようにして産業を継続させていくか対策を検討されたい。
園芸カレッジを卒業した後の出口戦略についても検討されたい。

■行政評価外部評価委員会の意見

(前年度)

行政評価内部評価委員会の意見はおおむね妥当と認める。

農業の後継者不足という明確な課題がある中で、本市の農業を持続させていく施策について検討されたい。

鳥獣害による被害件数も増加傾向にあるため、状況を注視しながら、適切な対策を検討されたい。

(今年度)

行政評価内部評価委員会の意見はおおむね妥当と認める。

(今年度)

■ 施策を構成する主な事務事業

No.	事務事業名	主要施策の成果 該当ページ数	事務事業の重点指標								所管課	備考
			指標名	方向	単位	R4	R5	R6	最終			
1	農地の適正管理	—	坂井北部丘陵地の耕作率	↑	%	実績 達成率	57.8 79.2%	74.4 101.9%	74.3 101.8%	73.0	農林水産課	
2	担い手の育成と支援	121	新規就農者数（平成28年度からの累計）	↑	人	実績 達成率	19.0 76.0%	26.0 104.0%	27.0 108.0%	25.0	農林水産課	
3	農地の有効活用と遊休地対策	—	利用権設定面積	↑	ha	実績 達成率	1,969.2 84.2%	2,002.2 85.6%	1,973.6 84.3%	2,340.0	農林水産課	
4	スマート農業への支援	120	スマート農業に対する補助件数（累計）	↑	件	実績 達成率	13.0 65.0%	14.0 70.0%	15.0 75.0%	20.0	農林水産課	
5	農業基盤の整備と管理	128	水田の大区画化面積	↑	ha	実績 達成率	1,456.0 96.0%	1,456.0 96.0%	1,456.0 96.0%	1,516.0	農林水産課	
6	農業関係団体との連携	—	作付率（生産数量目標面積に対する主食用米の作付面積）	→	%	実績 達成率	93.1 -	96.4 -	96.6 -	100.0	農林水産課	
7	地産地消の促進と安全な食の提供	—	学校給食における地元食材の使用率	→	%	実績 達成率	62.2 -	57.5 -	57.9 -	55.0	農林水産課	
8	6次産業化やブランド化の推進	—	農産物生産加工販売農業者数	↑	経営体	実績 達成率	8.0 114.3%	9.0 128.6%	9.0 128.6%	7.0	農林水産課	
9	環境保全型農業の推進	117	カバークロップの作付 + 化学肥料・農薬を5割以上低減する耕作	→	ha	実績 達成率	1.7 -	1.1 -	6.2 -	10.0	農林水産課	
10	坂井北部丘陵地の保全	—	丘陵地における利用権設定面積	↑	ha	実績 達成率	273.0 113.8%	274.0 114.2%	280.7 117.0%	240.0	農林水産課	
11	寄せ付けない集落環境の推進	124	緩衝帯の整備	↑	ha	実績 達成率	57.8 101.4%	58.9 103.3%	59.9 105.1%	57.0	農林水産課	
12	確実な侵入防止の推進	123	固定柵設置延長	↑	km	実績 達成率	78.4 122.5%	84.0 131.3%	90.3 141.1%	64.0	農林水産課	
13	加害個体捕獲の推進	122	捕獲頭数（イノシシ・シカ・中獣等）	→	頭	実績 達成率	266.0 -	346.0 -	493.0 -	450.0	農林水産課	
14						実績 達成率						
15						実績 達成率						
16						実績 達成率						
17						実績 達成率						
18						実績 達成率						
19						実績 達成率						
20						実績 達成率						

令和7年度 施策評価シート（令和6年度実績）

施策番号

26

施策の分野	action5（経済産業）	基本施策名	林業の振興	施策担当課	農林水産課
				関係課	
施策の目的	後継者の確保や、生産コスト削減のための施設整備を推進し、県産材の需要拡大をはじめとする林業の振興を図る。				

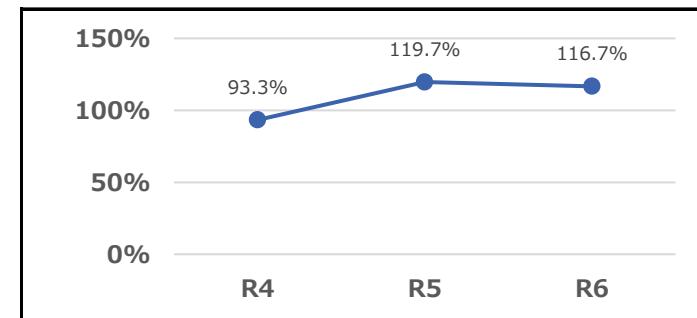
■ 施策のKPI

KPI	単位	R3	R4	R5	R6	R7	目標

■ KPIの推移に関する要因分析・評価、達成に向けて今後取り組む事項（施策担当課・関係課）

森林環境譲与税の交付により、林業振興事業を実施している。森林整備、森林環境教育、木材利用などの事業実施につなげている。今後も、坂井森林組合、関係団体と情報を共有しながら、林業振興に努めていく。

参考：事務事業の重点指標達成率の推移



■ 行政評価内部評価委員会の意見

(前年度)

引き続き、坂井森林組合の状況を把握しながら、長期的に事業が継続できるよう林業施策を着実に進められたい。

(今年度)

坂井森林組合と連携しながら、必要とされる林業施策を着実に推進されたい。

■ 行政評価外部評価委員会の意見

(前年度)

行政評価内部評価委員会の意見はおおむね妥当と認める。

(今年度)

行政評価内部評価委員会の意見はおおむね妥当と認める。

■ 施策を構成する主な事務事業

No.	事務事業名	主要施策の成果 該当ページ数	事務事業の重点指標								所管課	備考
			指標名	方向	単位	△	R4	R5	R6	最終		
1	林道の整備と管理	137	基幹林道釣ヶ岳線の舗装	↑	m	実績 達成率	6,189.0 42.2%	6,409.0 43.7%	6,409.0 43.7%	14,666.0	農林水産課	
2	間伐の促進と森林環境の保全	137	年間間伐面積	↑	ha	実績 達成率	83.6 139.3%	109.4 182.3%	94.2 157.0%	60.0	農林水産課	
3	経営体制の強化	138	木材搬出量	↑	m ³	実績 達成率	12,800.0 98.5%	17,291.0 133.0%	19,435.0 149.5%	13,000.0	農林水産課	
4						実績 達成率						
5						実績 達成率						
6						実績 達成率						
7						実績 達成率						
8						実績 達成率						
9						実績 達成率						
10						実績 達成率						
11						実績 達成率						
12						実績 達成率						
13						実績 達成率						
14						実績 達成率						
15						実績 達成率						
16						実績 達成率						
17						実績 達成率						
18						実績 達成率						
19						実績 達成率						
20						実績 達成率						

施策の分野	action5（経済産業）	基本施策名	水産業の振興	施策担当課	農林水産課
関係課					
施策の目的	北潟湖や波松海岸などで行われる漁業の振興に努めるとともに、漁業をテーマとしたブルーツーリズムや観光漁業の推進を図る。				

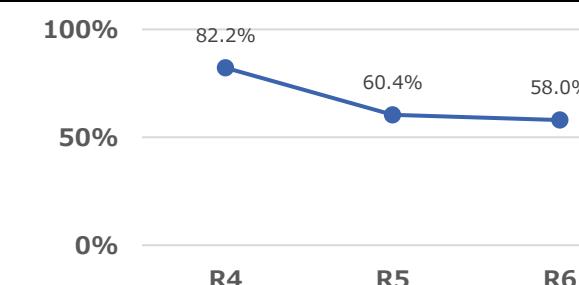
■ 施策のKPI

KPI	単位	R3	R4	R5	R6	R7	目標

■ KPIの推移に関する要因分析・評価、達成に向けて今後取り組む事項（施策担当課・関係課）

北潟漁業協同組合によると、令和6年度にワカサギは500万粒、フナは550kg、うなぎは160kgの稚魚放流行っているとの報告であった。漁業者の高齢化や離脱により、漁獲量は減少傾向にある。今後も漁獲量等を分析することで、魚種の選定を含めた計画的な稚魚放流事業を継続して支援し、北潟湖の魅力を高める。

参考：事務事業の重点指標達成率の推移



■ 行政評価内部評価委員会の意見

(前年度)

観光施策と併せて実施することで、北潟湖の魅力向上を図り、ブルーツーリズムとしての取組を検討されたい。

(今年度)

水産業について、本市の状況を注視しながら、適切な施策を推進されたい。

■ 行政評価外部評価委員会の意見

(前年度)

行政評価内部評価委員会の意見はおおむね妥当と認める。

(今年度)

行政評価内部評価委員会の意見はおおむね妥当と認める。

■ 施策を構成する主な事務事業

No.	事務事業名	主要施策の成果 該当ページ数	事務事業の重点指標								所管課	備考
			指標名	方向	単位	R4	R5	R6	最終			
1	水産業の振興	—	漁獲高	↑	kg	実績 達成率	2,184.0 78.0%	2,104.0 75.1%	1,405.0 50.2%	2,800.0	農林水産課	
2	水産物の認知度向上	—	遊漁者数	↑	人	実績 達成率	432.0 86.4%	228.0 45.6%	329.0 65.8%	500.0	農林水産課	
3						実績 達成率						
4						実績 達成率						
5						実績 達成率						
6						実績 達成率						
7						実績 達成率						
8						実績 達成率						
9						実績 達成率						
10						実績 達成率						
11						実績 達成率						
12						実績 達成率						
13						実績 達成率						
14						実績 達成率						
15						実績 達成率						
16						実績 達成率						
17						実績 達成率						
18						実績 達成率						
19						実績 達成率						
20						実績 達成率						

施策の分野	action5（経済産業）	基本施策名	工業の振興	施策担当課	商工労働課
関係課					
施策の目的	既存工業団地への企業誘致を進めるとともに、既存企業への支援を通して、事業所や企業が活動しやすいまちづくりを進める。				

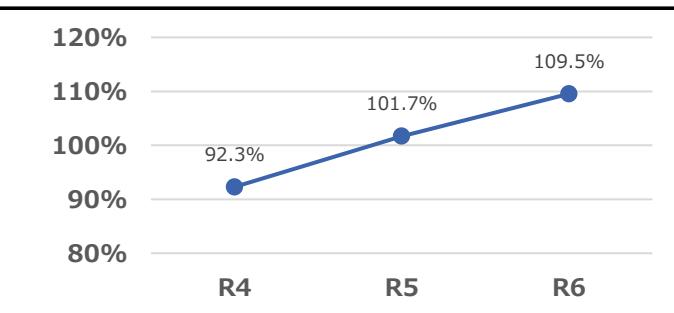
■ 施策のKPI

KPI	単位	R3	R4	R5	R6	R7	目標
年間製造品出荷額	億円	1,634.2	1,513.2	1,638.2	公表前		2,020.0

■ KPIの推移に関する要因分析・評価、達成に向けて今後取り組む事項（施策担当課・関係課）

年間製造品出荷額については、経済構造実態調査に基づくものであり、最新の実績は令和6年に公表された令和5年分である。令和4年実績と比較して約125億円、令和3年実績と比較して約4億円の増加となっている。令和5年の出荷額の増加は、コロナ禍から少しずつ脱却している時期で徐々に回復傾向にあったこと、また、物価高騰の影響によるものであると考えられる。令和6年については、引き続き物価高騰による影響が懸念される。令和6年度は、企業への支援制度の整備として、工場立地法に基づく緑地等に関する国の準則に代わり、適用すべき準則を定める条例を新たに制定し、緑地面積及び環境施設の敷地面積に対する割合を引き下げた。また、企業立地助成金における新規雇用者等に係る交付要件の見直しを行うなど、事業者が利用しやすい制度とした。今後は、市内企業等拠点拡充事業補助金の活用と併せて、企業誘致及び事業拡大の支援を進めていく。なお、工業団地造成については、引き続き検討する。

参考：事務事業の重点指標達成率の推移



■ 行政評価内部評価委員会の意見

(前年度)

企業への支援制度等について、事業者が利用しやすい制度を検討されたい。
工業団地造成についても、市としての方向性を明確にして、計画的に進められたい。

(今年度)

工業団地として指定されているエリアについて、市としてどのような方向性で進めるかを検討されたい。
市内企業支援を進めるとともに、商業施設誘致についても検討ができると良い。

■ 行政評価外部評価委員会の意見

(前年度)

行政評価内部評価委員会の意見はおおむね妥当と認める。

(今年度)

行政評価内部評価委員会の意見はおおむね妥当と認める。

■ 施策を構成する主な事務事業

No.	事務事業名	主要施策の成果 該当ページ数	事務事業の重点指標								所管課	備考
			指標名	方向	単位	R4	R5	R6	最終			
1	生産性の向上支援	—	市内中小企業等の「先端設備等導入計画」策定数	↑	社	実績 達成率	54.0 90.0%	57.0 95.0%	59.0 98.3%	60.0	商工労働課	
2	企業や事業者のニーズ把握	—	経済懇談会の開催数	→	回	実績 達成率	3.0 -	2.0 -	0.0 -	3.0	商工労働課	
3	企業立地の促進	144,148	工場等誘致実績数（累計）	↑	件	実績 達成率	13.0 86.7%	13.0 86.7%	13.0 86.7%	15.0	商工労働課	
4	外国人労働者の受け入れ体制強化	—	外国人登録者数	↑	人	実績 達成率	501.0 100.2%	617.0 123.4%	718.0 143.6%	500.0	商工労働課	
5						実績 達成率						
6						実績 達成率						
7						実績 達成率						
8						実績 達成率						
9						実績 達成率						
10						実績 達成率						
11						実績 達成率						
12						実績 達成率						
13						実績 達成率						
14						実績 達成率						
15						実績 達成率						
16						実績 達成率						
17						実績 達成率						
18						実績 達成率						
19						実績 達成率						
20						実績 達成率						

施策の分野	action5（経済産業）	基本施策名	商業・サービス業の振興	施策担当課	商工労働課
施策の目的	商工会などと連携しながら、にぎわい創出のための活動や人材育成などに取り組み、JR芦原温泉駅周辺と芦原温泉街における中心市街地の活性化と商業の振興を図る。				

■ 施策のKPI

KPI	単位	R3	R4	R5	R6	R7	目標
日用品などの買い物がしやすいと考える市民の割合	%	58.4	56.6	56.5	55.5		65.0

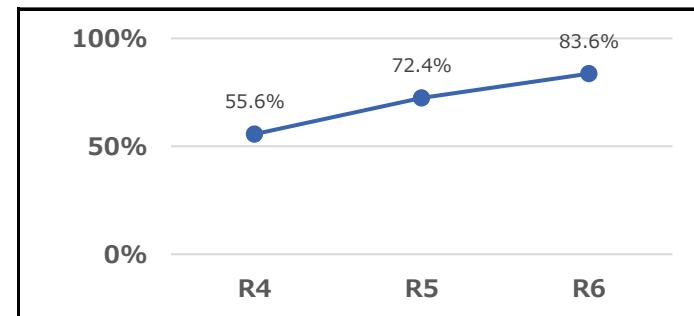
■ KPIの推移に関する要因分析・評価、達成に向けて今後取り組む事項（施策担当課・関係課）

令和6年度における市民アンケートの結果は、昨年度に比べて1.0%減少とほぼ横ばいである。要因としては、市内の買い物環境に大きな変化が見られなかったことが要因と推測される。

JR芦原温泉駅前商店街エリアにおける新規出店件数は、最終目標を達成しているが、不動産業者等と連携し、補助制度の周知を図るとともに、空き店舗情報バンクの充実を進め、空き店舗の解消に向けて取り組んでいく。これにより、駅前において、令和7年度にコストコ再販店がオープン予定、また、メイン通りではないが、クラフトビール店や洋食店が開店に至っている。

駅前の金津本陣にぎわい広場の利活用については、民間による活用を進めるため、民間より提案を募集したところ、応募はあったが民間投資のみでの利活用は厳しく、市へ支援を求める声があり、審査会開催には至らなかった。令和7年度は、土地の賃借料や補助金の上限など、具体的な支援策を提示した上で、改めて民間からの提案募集を行う予定である。

参考：事務事業の重点指標達成率の推移



■ 行政評価内部評価委員会の意見

(前年度)

駅前のaキューブの利活用について、有名店の出店条件を調査するなど、活用方法を検討されたい。
引き続き、空き店舗情報バンクを利用し、空き店舗の解消についても進められたい。

(今年度)

中心市街地の活性化について、JR芦原温泉駅周辺だけでなく、あわら湯のまち駅周辺のエリアについても検討されたい。
空き店舗解消や新商品開発支援について、着実に取り組まれたい。

■ 行政評価外部評価委員会の意見

(前年度)

行政評価内部評価委員会の意見はおおむね妥当と認める。

(今年度)

行政評価内部評価委員会の意見はおおむね妥当と認める。

■ 施策を構成する主な事務事業

No.	事務事業名	主要施策の成果 該当ページ数	事務事業の重点指標								所管課	備考
			指標名	方向	単位	R4	R5	R6	最終			
1	地域ブランド化への支援	145	新商品開発件数(累計)	↑	件	実績 達成率	3.0 42.9%	4.0 57.1%	6.0 85.7%	7.0	商工労働課	
2	創業支援と商店街等の活性化	144,145	日用品などの買物がしやすいと考える市民の割合	↑	%	実績 達成率	56.6 87.1%	56.5 86.9%	55.5 85.4%	65.0	商工労働課	
3	中心市街地の活性化	—	J R芦原温泉駅前商店街エリアにおける新規出店件数(累計)	↑	件	実績 達成率	1.0 33.3%	3.0 100.0%	3.0 100.0%	3.0	商工労働課	
4	経営力の向上	143	商工会組織率	↑	%	実績 達成率	63.4 90.6%	63.2 90.3%	60.0 85.7%	70.0	商工労働課	
5	資金調達の円滑化と人材育成支援	143	年度内融資(設備資金)	↑	件	実績 達成率	8.0 40.0%	9.0 45.0%	9.0 45.0%	20.0	商工労働課	
6	円滑な事業継承の促進	—	福井県事業承継・引継ぎ支援センターへの相談件数	↑	件	実績 達成率	8.0 40.0%	11.0 55.0%	20.0 100.0%	20.0	商工労働課	
7						実績 達成率						
8						実績 達成率						
9						実績 達成率						
10						実績 達成率						
11						実績 達成率						
12						実績 達成率						
13						実績 達成率						
14						実績 達成率						
15						実績 達成率						
16						実績 達成率						
17						実績 達成率						
18						実績 達成率						
19						実績 達成率						
20						実績 達成率						

令和7年度 施策評価シート（令和6年度実績）

施策番号

30

施策の分野	action5（経済産業）	基本施策名	雇用環境の充実	施策担当課	商工労働課
施策の目的	雇用環境の充実と就業機会の確保、就労に関する情報の発信、就労に必要な技能習得の支援などを通じて、雇用環境の充実を図る。				

■ 施策のKPI

KPI	単位	R3	R4	R5	R6	R7	目標
働きやすい環境が整っていると考える市民の割合	%	37.6	35.7	36.0	34.0		50.0

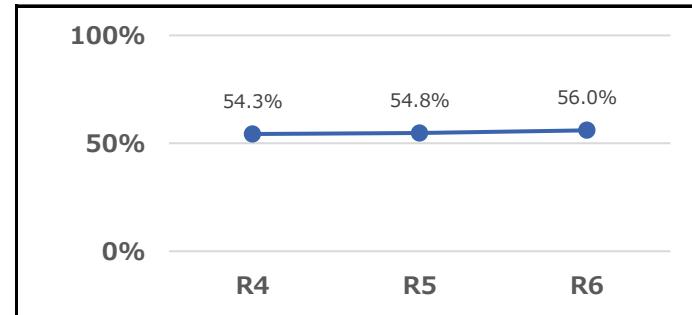
■ KPIの推移に関する要因分析・評価、達成に向けて今後取り組む事項（施策担当課・関係課）

令和6年度における市民アンケートの結果は、昨年度に比べて2.0%減少した。微減ではあるが、その要因として、長引く物価高騰による生活不安の増加が職場環境の評価にも影響を与えた可能性が考えられる。また、人手不足感が「働きやすさ」の実感を低下させていることも一因と推測される。

今後とも国や県などの関係機関と連携し、職場環境の改善を促す啓発活動等を通じて、地域全体で理解を深めていくような活動に取り組んでいく。

令和7年度は、職場への理解を深め、定着率の向上につながるインターンシップの重要性を踏まえ、インターンシップを実施する事業所への支援を再開する。

参考：事務事業の重点指標達成率の推移



■ 行政評価内部評価委員会の意見

(前年度)

引き続き、福井銀行との連携事業を活用するなどして、学生に地元企業を紹介する機会を設け、若者の地元就職に取り組まれたい。

(今年度)

高校生や大学生の地元定着につながるように、インターンシップへの支援や奨学金返済支援などの支援制度を着実に進められたい。

■ 行政評価外部評価委員会の意見

(前年度)

企業へのインターンシップについての支援策等を検討されたい。
地元就職促進策について、中学生に対する取組も増やせるとよい。

(今年度)

行政評価内部評価委員会の意見はおおむね妥当と認める。

■ 施策を構成する主な事務事業

No.	事務事業名	主要施策の成果 該当ページ数	事務事業の重点指標								所管課	備考
			指標名	方向	単位	実績	R4	R5	R6	最終		
1	将来を担う若い世代のシビックブライドの醸成	—	インターンシップ受入企業数	↑	社	実績 達成率	6.0 30.0%	0.0 0.0%	0.0 0.0%	20.0	商工労働課	
2	働きやすい環境づくり	—	働きやすい環境が整っていると考える市民の割合	↑	%	実績 達成率	35.7 71.4%	36.0 72.0%	34.0 68.0%	50.0	商工労働課	
3	勤労者福祉の向上	147	生活安定資金融資件数	↑	人	実績 達成率	8.0 61.5%	12.0 92.3%	13.0 100.0%	13.0	商工労働課	
4						実績 達成率						
5						実績 達成率						
6						実績 達成率						
7						実績 達成率						
8						実績 達成率						
9						実績 達成率						
10						実績 達成率						
11						実績 達成率						
12						実績 達成率						
13						実績 達成率						
14						実績 達成率						
15						実績 達成率						
16						実績 達成率						
17						実績 達成率						
18						実績 達成率						
19						実績 達成率						
20						実績 達成率						

令和7年度 施策評価シート（令和6年度実績）

施策番号

31

施策の分野	action5（経済産業）	基本施策名	交流の推進	施策担当課	市民協働課
				関係課	総務課、教育総務課
施策の目的	高知県香美市や茨城県下妻市との姉妹都市交流などによる自治体間連携を推進するとともに、国際友好都市である中国紹興市などの国際交流を通して、人に着目した豊かな交流を促進する。				

■ 施策のKPI

KPI	単位	R3	R4	R5	R6	R7	目標

■ KPIの推移に関する要因分析・評価、達成に向けて今後取り組む事項（施策担当課・関係課）

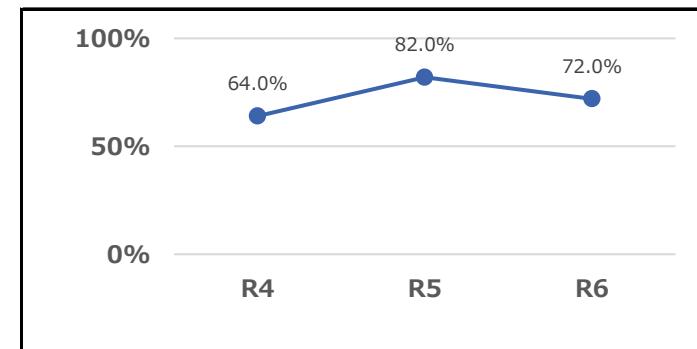
姉妹都市については、高知県香美市及び茨城県下妻市と、イベントでの物品販売やPRを行ったり、地元祭りに参加し地元の文化に触れ友好を深めることができた。今後も交流を継続し、相互の魅力を発信しつなぎを強化することで一層の発展に努める。

下妻市との教育交流事業では、夕食会や研修会を通して生徒同士の交流を行った。生徒たちは他市の状況を知ることにより、見識を深めるとともに自らの市の魅力を再発見することができ、大変有意義な交流となった。今後も継続して交流を深めていきたい。

生徒の国際交流については、令和6年度は中国への派遣が再開され、コロナ禍以降、アメリカ・中国ともに交流を本格実施することができた。また、1、2年生の希望者による文通での交流を継続して実施し、異文化理解に努めた。今後も使節団の派遣を継続して実施するとともに、できるだけ多くの生徒が参加できるよう参加枠の拡充に努めたい。

中国紹興市との交流については、令和6年度にあわら市・紹興市友好都市締結40周年式典及びパーティーをグランディア芳泉で開催し、多くの関係団体から約70人が参加し交流を深めた。春に市長を団長とする市長団を紹興市に6人派遣。40周年式典に紹興市から3人の訪問団を迎えた。

参考：事務事業の重点指標達成率の推移



■ 行政評価内部評価委員会の意見

(前年度)

外国人人口も今後増えていくと思われる所以、市内の外国人との交流機会を増やす施策を増やすことを検討されたい。

(今年度)

引き続き、紹興市などの友好都市交流について、推進されたい。

■ 行政評価外部評価委員会の意見

(前年度)

姉妹都市等との連携事業について、メディアでの露出に合わせてPR等の強化を検討されたい。

(今年度)

姉妹都市である香美市との間で、連携活動の充実を検討されたい。
外国人施策について、企業や周辺住民に対する取り組みも検討されたい。

■ 施策を構成する主な事務事業

No.	事務事業名	主要施策の成果 該当ページ数	事務事業の重点指標								所管課	備考
			指標名	方向	単位	△	R4	R5	R6	最終		
1	姉妹都市交流の推進	19,180	姉妹都市との交流人数	↑	人	実績	32.0	41.0	36.0	50.0	総務課、教育総務課	香美市5人、下妻市12人、教育交流(下妻市19人)
2	友好都市交流の推進	59	中国紹興市との交流人口	→	人	実績	0.0	4.0	9.0	50.0	市民協働課	
3	世界を視野に入れた人材の育成	59,180	渡航生徒数	→	人	実績	0.0	12.0	32.0	32.0	市民協働課、教育総務課	米国：高校生6人、中学生6人 中国：高校生6人、中学生14人
4						実績						
5						達成率						
6						実績						
7						達成率						
8						実績						
9						達成率						
10						実績						
11						達成率						
12						実績						
13						達成率						
14						実績						
15						達成率						
16						実績						
17						達成率						
18						実績						
19						達成率						
20						実績						
						達成率						

令和7年度 施策評価シート（令和6年度実績）

施策番号

32

施策の分野	aciton6（地域社会）	基本施策名	市民主役のまちづくり	施策担当課	市民協働課
				関係課	総務課、政策広報課
施策の目的	市民参画の機会の充実やまちづくり活動への支援などを通して、市民と市がそれぞれの責任と役割を自覚し、助け合いながらまちづくりに取り組むことのできる持続可能な地域社会の実現を目指す。				

■施策のKPI

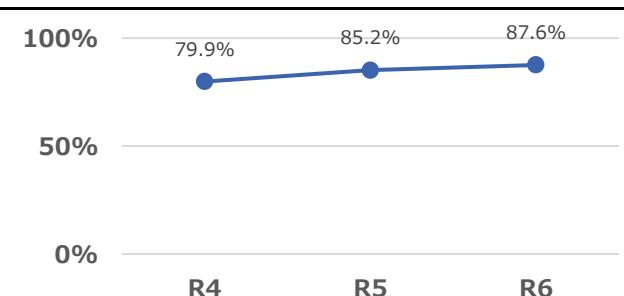
KPI	単位	R3	R4	R5	R6	R7	目標
市民の声が市政に届き、市民参画の機会が充実していると考える市民の割合	%	16.2	14.7	15.0	16.1		25.0
行政情報が分かりやすく公開されていると考える市民の割合	%	44.7	43.9	48.9	45.2		55.0
ホームページアクセス数（1日平均）	件	1,082.0	1,172.0	1,205.0	1,136.0		1,200.0

■KPIの推移に関する要因分析・評価、達成に向けて今後取り組む事項（施策担当課・関係課）

市民参画に関する評価（「市民の声が市政に届き、市民参画の機会が充実している」）は依然として肯定指向が低く、否定意見が半数を超えており、昨年度と同様、全体の水準は横ばいだが、特に若年層や一部地区で参加意欲・実感の低さが見られる。一方、「行政情報が分かりやすく公開されている」では肯定指向が5割程度を維持・微増し、広報活動の効果は一定程度現れている。令和6年度は広報戦略アドバイザー着任を契機に、情報発信の媒体選択やSNS活用の幅が広がったが、広聴分野の双方向性強化は道半ばである。

今後の取組としては、LINEやSNSなどを通じて、より市民が声を届けやすくする仕組みを作るとともに、その市民の声に対するレスポンスも公表していく事によって、参画への実感を高めていく事が重要である。

参考：事務事業の重点指標達成率の推移



■行政評価内部評価委員会の意見

(前年度)

市民参画の機会が充実しているまちづくりの在り方について、検討することが重要である。
特に若者などの普段から市政にあまり声が届いていない世代の声を拾い上げる施策を検討されたい。

(今年度)

市民の意見を聞く機会について、ホームページ上などで仕組みはあるが、市民参画の機会を増やす取り組みについて、より良い方法を検討されたい。

■行政評価外部評価委員会の意見

(前年度)

行政評価内部評価委員会の意見はおおむね妥当と認める。

(今年度)

行政評価内部評価委員会の意見はおおむね妥当と認める。

■ 施策を構成する主な事務事業

No.	事務事業名	主要施策の成果 該当ページ数	事務事業の重点指標								所管課	備考
			指標名	方向	単位	R4	R5	R6	最終			
1	まちづくり活動への支援	55	市民活動サポート助成金事業応募団体数（R3からの累計）	↑	団体	実績 達成率	12.0 34.3%	23.0 65.7%	33.0 94.3%	35.0	市民協働課	
2	市民の参画機会の充実	—	市民の声が市政に届き、市民参画の機会が充実していると考える市民の割合	↑	%	実績 達成率	14.7 58.8%	15.0 60.0%	14.6 58.4%	25.0	政策広報課	
3	地域コミュニティ活性化の推進	—	自治会加入率	↑	%	実績 達成率	87.8 92.4%	86.8 91.4%	85.9 90.4%	95.0	総務課	
4	休校を利用した地域の活性化	52,53	利活用として小学校を利用した回数（体育館の利用を除く。）	↑	回	実績 達成率	401.0 114.6%	372.0 106.3%	348.0 99.4%	350.0	政策広報課	
5	安心して参画できるシステムの構築	—	市民の声が市政に届き、市民参画の機会が充実していると思う割合	↑	%	実績 達成率	14.7 58.8%	15.0 60.0%	16.1 64.4%	25.0	政策広報課	
6	広聴事業の推進	48	あわら市Facebookページに対する「いいね」の数	↑	件	実績 達成率	2,742.0 114.3%	2,807.0 117.0%	2,817.0 117.4%	2,400.0	政策広報課	
7	情報発信の充実	—	行政情報が分かりやすく公開されていると考える市民の割合	↑	%	実績 達成率	43.9 86.1%	48.9 95.9%	45.2 88.6%	51.0	政策広報課	
8	情報公開の推進	—	情報公開請求に対する公開決定（全部及び一部）率	→	%	実績 達成率	89.8 -	94.6 -	100.0 -	-	総務課	
9						実績 達成率						
10						実績 達成率						
11						実績 達成率						
12						実績 達成率						
13						実績 達成率						
14						実績 達成率						
15						実績 達成率						
16						実績 達成率						
17						実績 達成率						
18						実績 達成率						
19						実績 達成率						
20						実績 達成率						

施策の分野	aciton6（地域社会）	基本施策名	情報化の推進	施策担当課	政策広報課
				関係課	総務課
施策の目的	ICTを積極的に活用した業務の効率化と迅速化、質の向上への取り組みを進めながら、行政情報を適切に管理し運用できる電子自治体の構築を推進する。				

■施策のKPI

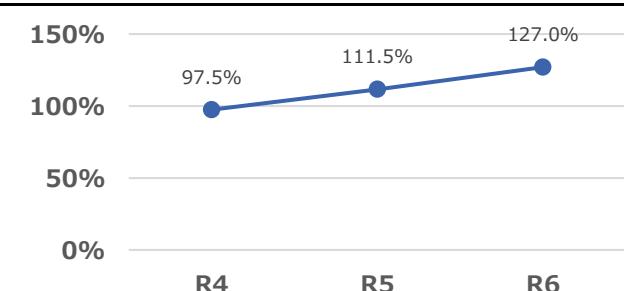
KPI	単位	R3	R4	R5	R6	R7	目標

■KPIの推移に関する要因分析・評価、達成に向けて今後取り組む事項（施策担当課・関係課）

引き続き福井坂井地区広域圏事務組合、坂井地区広域連合で、事務の効率化を図っていくとともに、令和7年度末までに実行する基幹システムの標準化・共通化を確実に進めていきたい。業務の効率化の観点では、令和7年度より、全庁的にMicrosoft365の導入を進めており、コミュニケーションの最適化や、業務の自動化、生成AIの活用などを積極的に進めていきたい。

また、DXの推進状況については、広報あわらの令和7年3月号に、これまでのDXの取組をまとめた記事を掲載し、市民への周知を図っており、引き続きDXの進捗状況が市民に対して伝わるような取組を続けていきたい。

参考：事務事業の重点指標達成率の推移



■行政評価内部評価委員会の意見

(前年度)

DXの推進について様々な取組を行っているが、その活動が市民に見えるように情報の周知に努められたい。

(今年度)

行政のDX化による業務効率化だけでなく、市民生活が便利になるようなDX化を進められたい。

■行政評価外部評価委員会の意見

(前年度)

行政評価内部評価委員会の意見はおおむね妥当と認める。

(今年度)

マイナンバーカードやDX化を活用することで、窓口の満足度向上や手続きのワンストップ化に取り組まれたい。

■ 施策を構成する主な事務事業

No.	事務事業名	主要施策の成果 該当ページ数	事務事業の重点指標								所管課	備考
			指標名	方向	単位	R4	R5	R6	最終			
1	電算処理システムの運用	48	共同処理する事務の数	→	団体	実績 達成率	34.0 -	34.0 -	34.0 -	35.0	政策広報課	
2	電算機器・システムの管理	—	各端末にインストールされている各種システムの質問集の件数	↑	件	実績 達成率	252.0 100.8%	467.0 186.8%	518.0 207.2%	250.0	政策広報課	
3	行政手続の電子化の推進	49	電子申請の手続数	↑	件	実績 達成率	69.0 69.0%	74.0 74.0%	105.0 105.0%	100.0	政策広報課	
4	個人番号カード（マイナンバーカード）の普及と利活用	69	マイナンバーカード保有率	↑	%	実績 達成率	- -	76.9 76.9%	82.9 82.9%	100.0	政策広報課	
5	個人情報の保護	—	審査会への照会件数	→	件	実績 達成率	0.0 -	0.0 -	0.0 -	-	総務課	
6	計画的な情報化施策の推進	—	共同処理する事務の数	→	件	実績 達成率	35.0 -	35.0 -	35.0 -	36.0	政策広報課	
7	情報セキュリティ対策の強化	—	セキュリティインシデントの発生件数	↓	回	実績 達成率	0.0 -	0.0 -	0.0 -	0.0	政策広報課	
8	高速通信網の整備	—	通信環境が整備された公共施設数	↑	施設数	実績 達成率	17.0 100.0%	17.0 100.0%	17.0 100.0%	17.0	政策広報課	
9	先端技術の推進	—	実証実験実施数	↑	件	実績 達成率	6.0 120.0%	6.0 120.0%	7.0 140.0%	5.0	政策広報課	
10						実績 達成率						
11						実績 達成率						
12						実績 達成率						
13						実績 達成率						
14						実績 達成率						
15						実績 達成率						
16						実績 達成率						
17						実績 達成率						
18						実績 達成率						
19						実績 達成率						
20						実績 達成率						

令和7年度 施策評価シート（令和6年度実績）

施策番号

34

施策の分野	aciton6（地域社会）	基本施策名	人口減少対策	施策担当課	政策広報課
				関係課	市民協働課、観光振興課
施策の目的	地域経済の活性化や安心して生み育てられる環境づくり、UIJターンの促進と活力人口の拡大など、さまざまな施策を強力に推進し、人口減少を抑制する。				

■施策のKPI

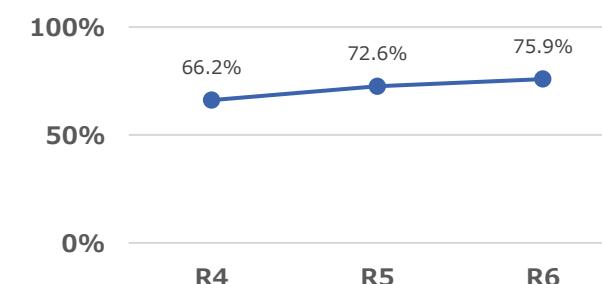
KPI	単位	R3	R4	R5	R6	R7	目標
UIJターンの移住者数（県およびあわら市の移住施策による）	人	74.0	84.0	91.0	97.0		100.0
合計特殊出生率（15歳から49歳までの年齢別出生率の合計）		1.39	1.39	1.39	1.39		1.63

■KPIの推移に関する要因分析・評価、達成に向けて今後取り組む事項（施策担当課・関係課）

移住スカウトサービス「SMOUT」を活用した魅力発信や移住促進支援金の拡充など、移住者支援の充実を図り、移住者数は97人と前年よりも増加した。引き続き、移住者向けの体験ツアーやお仕事体験など体験プランを広く展開し、積極的にPRすることで移住の促進を図る。

縁結びの推進については、出会い創出イベントの開催に加え、あわら市婦人福祉協議会や地域の縁結びさんと連携し、婚活イベントを実施した。今後も、参加者の年齢層やライフスタイル、価値観の多様化などを視野に入れ、多様な出会いの場を創出し、民間業者や関係団体と連携・協議を図りながら、成婚に向けて粘り強く促進していく。

参考：事務事業の重点指標達成率の推移



■行政評価内部評価委員会の意見

(前年度)

この事項については、全庁的に関連してくるものである。

過去や他自治体のデータを把握し、市としての現状を再確認しながら、必要な施策を検討されたい。

(今年度)

人口減少対策については、結婚する人が増えることが重要である。

結婚支援策について、より良い施策を検討されたい。

■行政評価外部評価委員会の意見

(前年度)

行政評価内部評価委員会の意見はおおむね妥当と認める。

(今年度)

婚姻数について、適切に実態を把握する方法を検討されたい。

■施策を構成する主な事務事業

No.	事務事業名	主要施策の成果 該当ページ数	事務事業の重点指標								所管課	備考
			指標名	方向	単位	R4	R5	R6	最終			
1	あわら市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進と効果の検証	51,52	総合戦略の検証	→	回	実績 達成率	1.0 -	0.0 -	1.0 -	1.0 -	政策広報課	
2	魅力発信の強化	—	魅力度の向上（SMOUTネット関係人口スコア）	↑	点	実績 達成率	54.4 77.7%	- -	- -	70.0 -	市民協働課	SMOUTネット関係人口スコアの算出サービスが終了したため、スコアが不明
3	移住者支援の充実	61	移住者の増（移住者（UIJターン者）数）	↑	人	実績 達成率	84.0 84.0%	91.0 91.0%	97.0 97.0%	100.0 -	市民協働課	
4	移住定住を推進する関係機関との連携強化	60	認知度の向上（移住定住フェアにおける相談者数）	↑	人	実績 達成率	44.0 88.0%	54.0 108.0%	62.0 124.0%	50.0 -	市民協働課	
5	出会いから成婚までの支援	—	本事業による成婚数（R3からの累計）	↑	組	実績 達成率	1.0 10.0%	1.0 10.0%	1.0 10.0%	10.0 -	市民協働課	
6	多文化共生の推進	—	多文化共生の理解が進んでいると感じる市民の割合	↑	%	実績 達成率	21.5 86.0%	21.9 87.6%	20.2 80.8%	25.0 -	市民協働課	
7	小規模多機能自治の検討	—	先進自治体の視察	→	回	実績 達成率	- -	- -	1.0 -	8.0 -	市民協働課	
8	交流人口の拡大	151	あわら市観光入込客数	↑	人	実績 達成率	1,308,700.0 59.5%	1,868,900.0 85.0%	2,129,600.0 96.8%	2,200,000.0 -	観光振興課	
9	関係人口の拡大	—	メールマガジン登録者数	↑	人	実績 達成率	5,790.0 57.9%	5,386.0 53.9%	4,674.0 46.7%	10,000.0 -	市民協働課	R6は楽天、ふるさとチョイスのあわら市メール配信数（R4.5はすぐメールの配信数）
10						実績 達成率						
11						実績 達成率						
12						実績 達成率						
13						実績 達成率						
14						実績 達成率						
15						実績 達成率						
16						実績 達成率						
17						実績 達成率						
18						実績 達成率						
19						実績 達成率						

令和7年度 施策評価シート（令和6年度実績）

施策番号

35

施策の分野	aciton6（地域社会）	基本施策名	持続可能な行財政の運営	施策担当課	政策広報課
				関係課	総務課、財政課、税務課、監理課、市民協働課、市民課、会計課、監査委員事務局
施策の目的	地方分権時代において、多様化かつ高度化する市民ニーズに対応するため、行政情報の発信と行財政改革の推進、財政基盤の安定化に努め、効率的な行財政運営を推進する。				

■施策のKPI

KPI	単位	R3	R4	R5	R6	R7	目標
実質公債費比率（↓）	%	6.7	7.0	7.3	8.3		7.2
市税収納率（現年度分）	%	99.5	99.3	99.5	98.6		100.0
将来負担比率	%	35.8	28.0	23.6	23.0		60.0

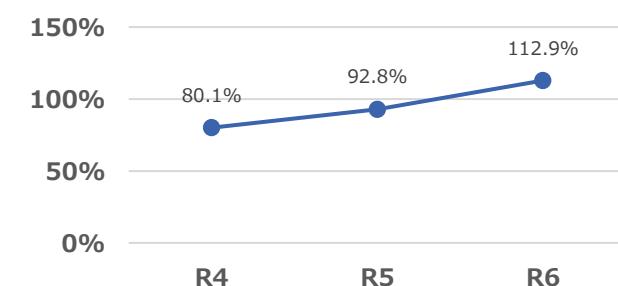
■KPIの推移に関する要因分析・評価、達成に向けて今後取り組む事項（施策担当課・関係課）

実質公債費比率については、芦原温泉駅周辺整備事業等の大型事業の起債の償還に伴う公債費の増により、今後数年間は増加していくことが見込まれる。

将来負担比率については、今後数年間で起債残高の減少が見込まれる一方で、交付税算入率が高い起債（合併特例債、臨時財政対策債等）の割合が減るとともに、財政調整基金などの充当可能財源の増が見込まれないため、横ばいで推移する見込み。

初期少額滞納者を中心に徴収員の積極的な個別訪問、令和6年度からはデジタル技術を活用したオンラインでの財産調査の実施、給与や預貯金等の差押えなど組織的な滞納整理に取り組んだが、市税の収納率（現年度分）は98.6%と低下した。税負担の公平性を保つため、引き続き、徴収の徹底と自主納付の推進に取り組む。

参考：事務事業の重点指標達成率の推移



■行政評価内部評価委員会の意見

(前年度)

歳入の確保として、引き続き、ふるさと納税額増加に取り組まれたい。

行政の業務量が増加する中、事業のスクラップ化についても仕組みづくりを検討されたい。

(今年度)

小さい取り組みからでも、超過勤務時間などについて、縮減できるように取り組まれたい。
生成AIの活用などによる業務効率化についても検討されたい。

■行政評価外部評価委員会の意見

(前年度)

ふるさと納税が増額した要因を分析して、今後の取組に活かしてほしい。

職員の超過勤務時間が改善されるよう対応を検討されたい。

(今年度)

行政評価内部評価委員会の意見はおおむね妥当と認める。

■ 施策を構成する主な事務事業

No.	事務事業名	主要施策の成果 該当ページ数	事務事業の重点指標								所管課	備考
			指標名	方向	単位	R4	R5	R6	最終			
1	組織・定員の適正化	15	あわら市の職員数	→	人	実績 達成率	284.0 -	293.0 -	297.0 -	303.0	総務課	
2	人材の育成と勤務評価の推進	16	職員の研修参加者	→	人	実績 達成率	649.0 -	711.0 -	897.0 -	550.0		
3	多様な働き方の推進	—	超過勤務時間	→	時間	実績 達成率	19,921.5 -	23,986.0 -	21,631.0 -	19,000.0	総務課	
4	ICTなどの積極的な活用	—	課題解決された事務数	↑	事務	実績 達成率	22.0 14.7%	35.0 23.3%	40.0 26.7%	150.0		
5	産官学協力体制づくりの推進	43	大学等との包括的連携協定数	↑	件	実績 達成率	11.0 55.0%	12.0 60.0%	13.0 65.0%	20.0	政策広報課	
6	行政文書の適正な管理	—	例規の制定件数	→	件	実績 達成率	114.0 -	150.0 -	122.0 -	-		
7	統計調査の適正な執行とデータの管理	53	登録調査員人数	↑	人	実績 達成率	56.0 75.7%	56.0 75.7%	58.0 78.4%	74.0	政策広報課	
8	総合窓口サービスの充実	69	マイナンバーカード保有率	↑	%	実績 達成率	- -	76.9 76.9%	82.9 82.9%	100.0		
9	行政評価システムの適正な運用	—	総合振興後期基本計画の目標達成割合	↑	%	実績 達成率	4.8 4.8%	11.5 11.5%	11.5 11.5%	100.0	政策広報課	
10	行財政改革の推進	41	指定管理者導入施設割合	↑	%	実績 達成率	8.0 80.0%	10.0 100.0%	10.0 100.0%	10.0		
11	公共施設等総合管理計画の推進	42	公共施設削減延べ床面積	↑	%	実績 達成率	0.0 0.0%	0.1 2.0%	0.2 4.0%	5.0	監理課	
12	市有財産の適正な管理	40	普通財産処分	↑	件	実績 達成率	1.0 20.0%	2.0 40.0%	0.0 0.0%	5.0		
13	入札制度等の改善と適正な執行	38	電子入札件数割合	↑	%	実績 達成率	68.5 85.6%	62.8 78.5%	71.7 89.6%	80.0	監理課	
14	行政委員会などの適正な運営	13	財政援助団体等監査	→	件	実績 達成率	6.0 -	5.0 -	3.0 -	4.0		
15	財政の効率化、健全化、透明化	—	実質公債費比率	↓	%	実績 達成率	7.0 102.9%	7.3 98.6%	8.3 86.7%	7.2	財政課	
16	市税の適正な賦課	—	給与支払報告書を10人分以上提出した事業所のうち、普通徴収事業所の数	↓	事業者	実績 達成率	7.0 228.6%	7.0 228.6%	5.0 320.0%	16.0		
17	収納事務の適正な執行	34	現年度分収納率	↑	%	実績 達成率	99.3 99.3%	99.5 99.5%	98.6 98.6%	100.0	税務課	
18	ふるさと納税制度などの活用	56	ふるさと納税額	↑	千円	実績 達成率	486,262.0 194.5%	780,166.5 312.1%	1,259,130.3 503.7%	250,000.0		
19	会計処理の適正な推進	176	支払伝票処理（伝票審査及び支払依頼）	→	件	実績 達成率	25,160.0 -	24,925.0 -	25,601.0 -	24,000.0	会計課	
20						実績 達成率						